

Panasonic®

取扱説明書

メモリーカード ポータブル レコーダー

品番 AG-HPG10

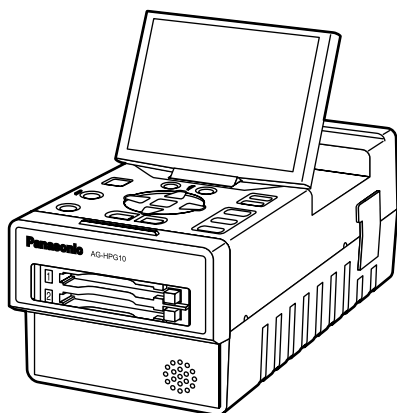
P2HD

DVCPRO HD

DVCPRO 50

DVCPRO

DV



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6～11ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

本機の使いかた

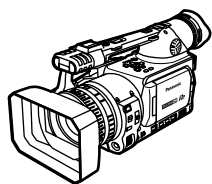
本機は、バッテリー駆動ができるコンパクトな筐体に、2つのP2カードスロットと3.5インチの液晶モニター、USB2.0/IEEE1394/コンポーネント/コンポジット/SDIなどの多彩な入出力端子を搭載し、P2カメラレコーダーで撮影したコンテンツを手軽に再生することができます。また、バックアップ収録やファイル管理が可能で、P2フィールド収録をサポートします。

コンテンツ再生する

1 本機の液晶モニターで再生 (→ 44 ページ)

P2カメラレコーダーでP2カードに撮影したコンテンツをその場で再生(映像/音声)することができます。

P2カメラレコーダー



P2カード

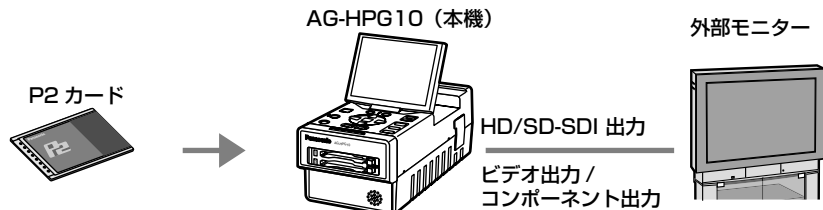


AG-HPG10 (本機)



2 外部モニターに出力して再生 (→ 48 ページ)

P2カードに撮影したコンテンツを外部モニターに出力して再生(映像/音声)

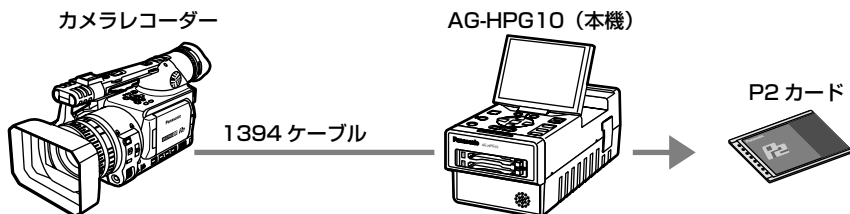


P2カードに記録する

3 P2カードへの同時記録 (→ 50 ページ)

P2カメラレコーダーに接続して、撮影中のコンテンツを本機で確認しながら同時にP2カードに記録することができます。

また、カメラレコーダーから本機の記録開始操作および停止操作ができます。



外部機器に保存する

4 外部 HDD に保存 (→ 54 ページ)

P2 カードのコンテンツを外部ハードディスクに保存することができます。
また、外部ハードディスクに保存したデータを P2 カードに戻すこともできます。
(USB HOST モード時のみ)



編集する

5 パソコンと接続して編集 (→ 64 ページ)

パソコンと接続して P2 カードのコンテンツをパソコンで編集することができます。



本機の使いかた	2
---------------	---

はじめに

安全上のご注意	6
パナソニック純正バッテリーパック (充電式電池) ご使用のおすすめ	12
本書の見かた	12
ご使用の前に	13
付属品	13

各部の名称

各部の名称	14
操作部	14
機構部 / 入出力端子部	15

準備

バッテリーの充電	16
充電する	16
電源の取り付け・取り外し	17
バッテリーの取り付け・取り外し	17
電源コードの取り付け・取り外し	17
基本の操作	18
電源の入れかた・切りかた	18
液晶モニターを使う	18
メニューの操作	19
操作モードについて	20
液晶モニターの設定	22
カレンダーをあわせる	23
P2 カードについて	24
P2 カードの挿入	24
P2 カードアクセス LED と P2 カードの状態について	24
P2 カードのフォーマット	25
P2 カードの保護について	25
P2 カードを取り出す	26
P2 カードの記録時間について	27
その他	27
USER ボタンの活用	27
内蔵電池の充電	27
SD/SDHC メモリーカードを使う	28
SD メモリーカードの取り付け・取り外し	28
SD メモリーカードのフォーマット	28
SD メモリーカード使用上の注意	28
SD メモリーカードに USER ファイルを保存する	29

再生

サムネール表示	30
再生フォーマットについて	30
再生フォーマットの切り替え	30
サムネール表示画面各部の名称とはたらき	30
サムネール表示画面の表示の変更	33
表示する項目を設定する	34
クリップの管理	35
クリップを選択する	35
クリップを削除する	35
クリップを修復・連結する	36
クリップをコピーする	37
クリップ情報を表示する	38
クリップ情報を編集する	40
クリップにショットマークを挿入する	41
P2 カードの状態を表示する	41
SD メモリーカードの各種情報を表示する	43
クリップの再生	44
クリップを再生する	44
可変速サーチ	45
クリップ送り / 戻し	45
早送り / 早戻し再生	45
コマ送り再生	45
リピート再生	45
テキストメモ位置からの再生	46
テキストメモの削除	47
テキストメモによるクリップ分割コピー	47
サムネール画像の置き換え	47
外部モニターに出力して再生する	48
出力設定をする	48
記録 / 再生時の音量調整	48

記録

P2 カードに記録する	50
1394 入力記録	50
2 スロット連続記録	51
ウェブフォームモニター表示	51
タイムコード表示	51
1394TC プリセットモード	52
タイムコードを設定する	52
タイムコードを指定する (TC PRESET 項目)	52
ユーザーズビットを設定する	53

保存

P2 カードから HDD にコピーする	54
P2 カードから HDD にコピーする (USB HOST モード)	55
USB HOST モードに切り替える	55
使用できる HDD	55
HDD のタイプと利用できる機能について	56
HDD のフォーマット	57
カード単位での HDD へのエクスポート	58
HDD の情報表示	59
HDD のクリップのサムネール表示	60
HDD から P2 カードへのインポート	61
P2 カードから HDD にコピーする (1394 HOST モード)	62
1394 HOST モードに切り替える	62
HDD のフォーマット	62
P2 カードから HDD へコピーする	63
HDD の状態表示	63

編集

外部機器で編集する	64
P2 カードのデータを編集する (USB DEVICE モード / 1394 DEVICE モード)	64
USB DEVICE モードで編集する	64
1394 DEVICE モードで編集する	65

表示

画面の表示	66
通常の表示	66
警告表示	68
画面表示内容の選択	71
記録再生と出力フォーマット一覧	72

メニュー

設定メニューの基本操作	74
設定メニューを初期化する	74
設定メニューの構成	75
設定メニューの一覧	76
RECORDING SETUP 画面	76
SW MODE 画面	78
PLAYBACK FUNCTIONS 画面	79
AV OUT SETUP 画面	79
DISPLAY SETUP 画面	80
CARD FUNCTIONS 画面	81
OTHER FUNCTIONS 画面	82
OPTION MENU 画面	84




ご参考

警告システム一覧表	85
USB HOST モードと 1394 HOST モー ドの主な相違点	86
故障?と思ったら (Q&A)	87
使用上のご注意	90
本機搭載ドライバーのアップデート	92
お手入れについて	92
結露	92
保管上のご願い	93
P2 カード記録データの取り扱いについて	94
メモリーカードのご使用について	95
本製品に関するソフトウェア情報	96
保証とアフターサービス (よくお読みください)	97
定格	98




安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重症などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険



指定以外のバッテリーパックを使わない

バッテリーパックの端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

●不要（寿命）になったバッテリーについては90ページをご参照ください。

●万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水ですぐ洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。



バッテリーパックは、本機専用の AC アダプターで充電する

指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。



AC アダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

警告



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V ~ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



電源コード・接続コード・プラグが破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



表示された電源電圧以外は使用しない

火災や感電の原因になります。

禁止



雷が鳴り出したら、本機や AC アダプターなどの電源プラグには触れない

感電の原因になります。

接触禁止



付属品・オプションは、指定の製品を使用する

本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。



分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

●内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解禁止



指定のカバー以外は外さない

火災や感電の原因になります。

●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

⚠ 警告 (つづき)



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

●機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。



水場
使用禁止

水場で使用しない

火災や感電の原因になります。



電源プラグは、根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。



電源プラグのほこりなどは、定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



SD メモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

●歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。



電源プラグ
を抜く

異常があったときは、AC アダプターの電源プラグを抜く

●内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき

●落下などで外装ケースが破損したとき

●煙や異臭、異音などが出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

●バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。

●販売店に相談してください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない

感電の原因になります。

注意



油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。



電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
●必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。



本機の放熱を妨げない

- 押し入れや本箱など、狭いところに入れないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上には置かないでください

内部に熱がこもり、火災の原因になります。



専用の AC アダプター以外は使用しない

定格外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になります。



コードを接続した状態で移動しない

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。



ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

次ページにつづく

⚠ 注意 (つづき)



本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

- 落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。
- 重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。



飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

- 本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。
- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。



電源プラグ
を抜く

長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く

火災や感電の原因になります。



直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機やメモリーカード、バッテリー、ACアダプターなどを絶対に放置しないでください。

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。

パナソニック純正バッテリーパック（充電式電池）ご使用のすすめ

平素よりパナソニック製品をご愛用頂きまして誠にありがとうございます。
弊社では従来より、デジタルカメラをはじめ、バッテリーパックを使用するパナソニック製機器には、パナソニック純正のバッテリーパックをご使用頂くことをおすすめしておりますが、パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーパックが、一部海外で流通していることが判明致しました。

このようなバッテリーパックの模造品の中には、高出力、長時間使用のための一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーパックを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。

つきましては安全に商品をご使用頂くために、バッテリーパックを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーパックのご使用を改めておすすめいたします。

なお、弊社では模造品のバッテリーパックが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

お問い合わせは

ナショナル / パナソニックお客様ご相談センター

お電話でのご相談は フリーダイヤル	パナは 365日 0120-878-365
受付時間	9時～20時
携帯電話・PHSからは	06-6907-1187 (有料)
FAXでのご相談は	0120-878-236

本書の見かた

本書内のイラストについて

- 本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを（→ 12 ページ）のように示しています。

ご使用の前に

必ずカレンダー、タイムゾーンの確認・設定を行きましょう

- 記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。記録の前にカレンダー、タイムゾーンの設定・確認を行ってください。(→ 23 ページ)

録画内容の補償はできません

- 本機および P2 カード使用中、万一不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

- あなたが録画や録音した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

DV(IEEE1394) ケーブルで接続するときのご注意

- Windows :**
本機の電源を切り、端子の形状と向きをご確認の上、接続してください。
- Apple Macintosh :**
Macintosh の電源を入れたあと、端子の形状と向きをご確認の上、接続してください。(→ 64 ページ)

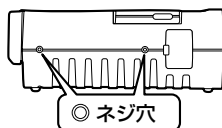
本機で使えるメディアについて

以下のメディアが使用できます。詳しくはそれぞれのページをご覧ください。

- P2 カード (→ 24 ページ)
- SD/SDHC メモリーカード (→ 28 ページ)

本機のネジ穴について

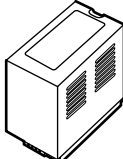
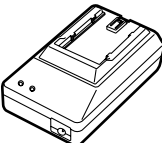

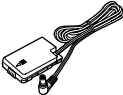

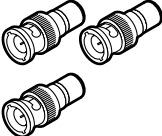
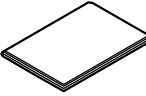

本機の側面にある 4 箇所(ネジ穴)には、M5 (5 mm 径) タイプの長さ 10 mm のネジが使用できます。ネジを使用する場合は、無理に締め付けしないでください。また、M5 (5 mm 径) タイプの長さ 10 mm 以外のネジを使用すると、本機が破損する場合があります。



反対の側面にも 2 箇所あります。

その他の使用上の注意については 90 ページをご覧ください。

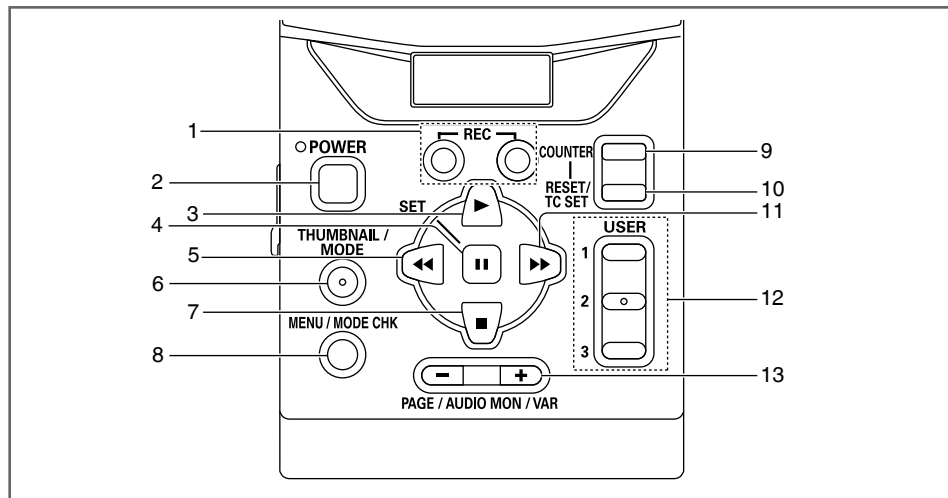
付属品

バッテリー ※ 	AC アダプター 	AC コード 	DC コード 
コンポーネント映像ケーブル 	ピン-BNC 変換プラグ (3個) 	取扱説明書 	P2 カード ドライバーソフトウェア (CD-ROM) 

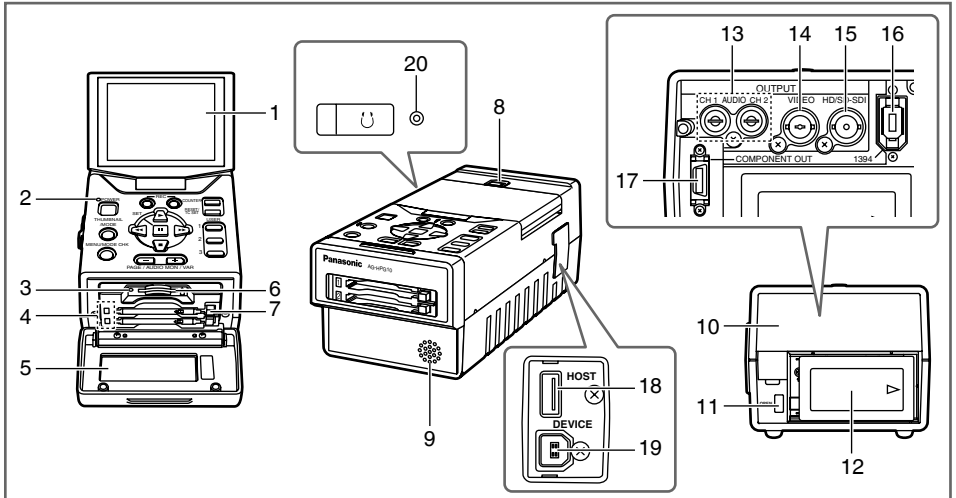
※ 「バッテリー」の品番につきましては、【別売周辺機器】(→ 99 ページ) を参照してください。

各部の名称

操作部



- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1 REC ボタン (→ 50 ページ) | 9 COUNTER ボタン (→ 51 ページ) |
| 2 POWER ボタン (→ 18、87 ページ) | 10 RESET/TC SET ボタン
(→ 22、51 ページ) |
| 3 PLAY ボタン (→ 19、44 ページ) | 11 FF ボタン (→ 19、44 ページ) |
| 4 STILL ボタン (→ 19、44 ページ) | 12 USER ボタン (→ 27 ページ) |
| 5 REW ボタン (→ 19、44 ページ) | 13 PAGE/AUDIO MON/VAR ボタン
(→ 35、45、48 ページ) |
| 6 THUMBNAIL/MODE ボタン
(→ 20 ページ) | |
| 7 STOP ボタン (→ 19、44 ページ) | |
| 8 MENU/MODE CHK ボタン
(→ 19、27 ページ) | |



- 1 液晶モニター (→ 18、22 ページ)
- 2 電源ランプ (→ 18、85 ページ)
- 3 SD カードアクセス LED (→ 28 ページ)
- 4 P2 カードアクセス LED (→ 24 ページ)
- 5 カードスロットカバー (→ 24、26 ページ)
- 6 SD カードスロット (→ 28 ページ)
- 7 P2 カードスロット (→ 24 ページ)
- 8 液晶モニターオープンボタン
(→ 18 ページ)
- 9 スピーカー (→ 48、68 ページ)
- 10 端子部カバー
- 11 バッテリー取り出しボタン (→ 17 ページ)

- 12 バッテリー (→ 16 ページ)
- 13 AUDIO OUT CH1/CH2 端子
(→ 48 ページ)
- 14 VIDEO OUT 端子 (→ 48 ページ)
- 15 HD/SD-SDI OUT 端子 (→ 48 ページ)
- 16 IEEE1394 入出力端子 (→ 50 ページ)
- 17 コンポーネント出力端子 (D4 端子)
(→ 48 ページ)
- 18 USB2.0 端子 (Type A) (→ 54 ページ)
- 19 USB2.0 端子 (Type B) (→ 64 ページ)
- 20 ヘッドホン端子 (→ 48、68 ページ)

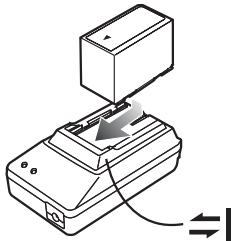
バッテリーの充電

充電する

バッテリーを使用する前に、AC アダプターでフル充電を行ってください。また、予備のバッテリーを1本用意されることをおすすめします。

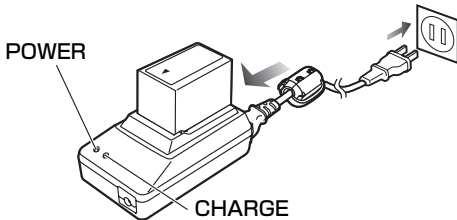
1 AC アダプターの「=」マークにそってバッテリーを水平に載せ、スライドさせる

- AC アダプターに DC コードを接続している場合は、取り外しておいてください。接続していますと、充電できません。



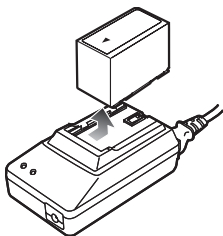
2 AC コードをコンセントに接続する

- AC アダプターの POWER ランプと CHARGE ランプが点灯し、充電を開始します。
- バッテリーを取り付けたときに CHARGE ランプが点灯しない場合、バッテリーを取り付け直してください。



- 充電が終わると、AC アダプターの CHARGE ランプが消灯します。

3 バッテリーをスライドさせて取り外す



付属のバッテリーの充電時間と再生時間

容量	充電時間	連続再生時間
5400 mAh	約 330 分	約 240 分

- 上の表は、DVCPRO HD モードで再生したときの目安です。
- 上の表は、動作周囲温度 20℃、動作相対湿度 60% での動作です。それ以外の温度や湿度では、充電時間が長くなることがあります。

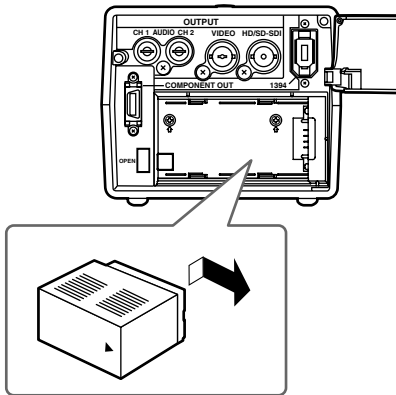
- バッテリーは、使用中や充電中には温度が高くなります。
- 必要以上に再生と停止を繰り返すと、再生時間は上の表より短くなります。
長期間保管する場合、1年に1回は充電し、本機で充電容量を使い切ってから再保管することをおすすめします。
- バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりするとき、もしくは、バッテリーが長期間使用されず放電したままになっているとき、CHARGE ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- バッテリーが適温でも、CHARGE ランプが点滅し続けるときは、バッテリーか AC アダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くなります。
- AC アダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。AC アダプターとラジオは 1 m 以上離してお使いください。
- AC アダプターの使用中に、AC アダプターからノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。
- AC アダプターから本体に電源を供給しているときは、バッテリーの充電を行うことができません。
- 別売バッテリーパック VW-VBD33 (1500 mAh) は動作保証いたしません。

電源の取り付け・取り外し

バッテリーの取り付け・取り外し

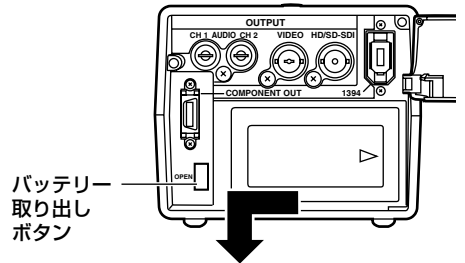
取り付け

- 1 カチッというまで入れる



取り外し

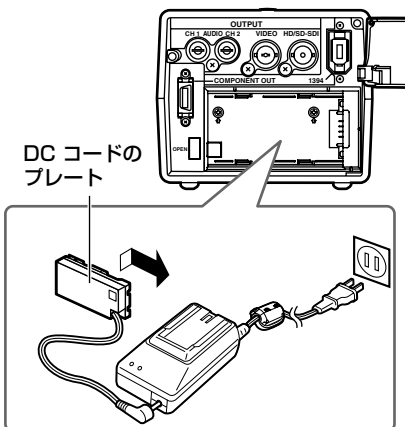
- 1 [POWER] を 2 秒以上押して電源を OFF にし、電源ランプが消灯したことを確認する (→ 18 ページ)
- 2 バッテリー取り出しボタンを押しながらバッテリーを取り外す
 - バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。



電源コードの取り付け・取り外し

取り付け

- 1 DC コードを AC アダプターに接続する
- 2 AC コードをコンセントに接続する
- 3 DC コードのプレートのカチッというまで入れる



取り外し

- 1 [POWER] を 2 秒以上押して電源を OFF にし、電源ランプが消灯したことを確認する (→ 18 ページ)
- 2 バッテリー取り出しボタンを押しながら DC コードのプレートを取り外す
- 3 AC コードをコンセントから抜く

- AC アダプターから本体に電源を供給しているときは、バッテリーの充電を行うことができません。
- AC アダプターは全世界の電源電圧 (100 V - 240 V)、電源周波数 (50 Hz、60 Hz) で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談の上、お求めください。
- 本機を使用しないときは、AC コードをコンセントから外してください。

基本の操作

電源の入れかた・切りかた

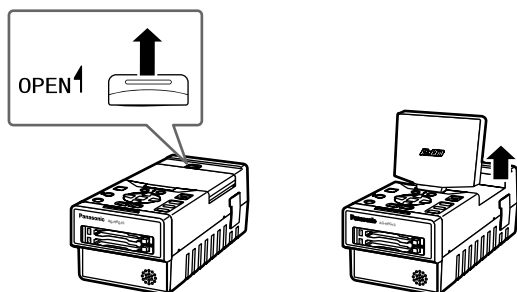
[POWER] を 2 秒以上押したままにする

- 電源ランプが点灯し電源が ON になります。
- 電源 ON の状態で [POWER] を 2 秒以上押したままにすると、電源ランプが消灯し電源が OFF になります。

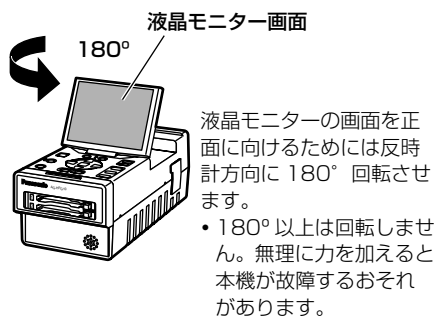
液晶モニターを使う

1 [POWER] を 2 秒以上押したままにして電源を ON にする

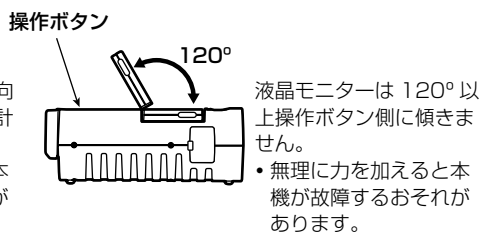
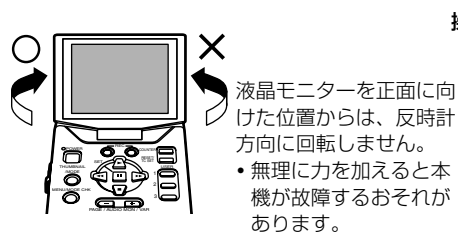
2 液晶モニターオープンボタンを矢印の方向に押しながら液晶モニターを起こす



3 液晶の画面が一番見やすい位置にする



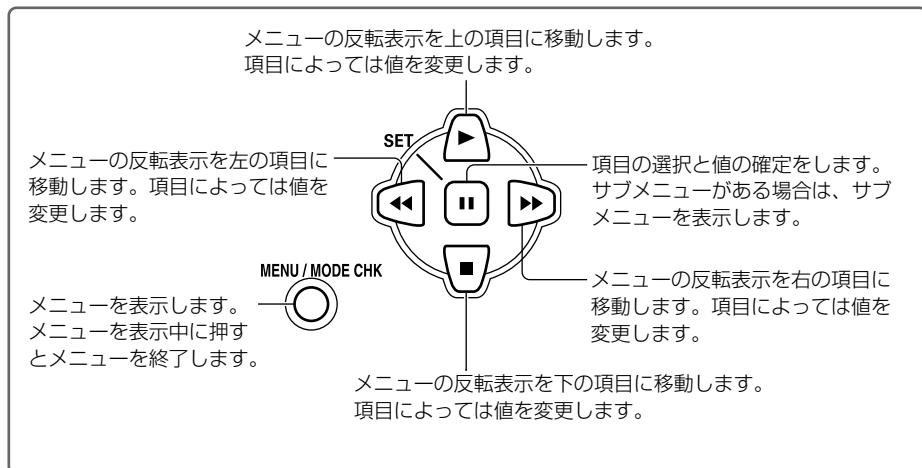
液晶モニターを回転させるときは、必ず垂直に起こした状態で回転させてください。



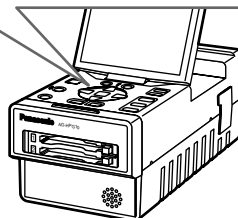
メニューの操作

本機には、サムネール表示、サムネール表示オフ（1394 入力記録待機モード、再生待機モード）、PC モードの 3 種類の画面があり、それぞれの画面で [MENU/MODE CHK] を押すと、メニューが表示されます。（USB DEVICE、1394 DEVICE モードは、メニュー表示がありません。）

■ 操作ボタンを押したときのはたらき



標準







■ メニュー操作の例：（サムネール表示画面の場合）

1 [MENU/MODE CHK] を押してメニューを表示させる



3 田を押す

- さらにメニューが表示された場合は、手順 2 から 3 を繰り返します。
- 項目によっては、、、、 で値を変更します。
- 項目によっては、確認画面が表示されます。
- 項目によっては、自動的に元の画面に戻ります。

4 [MENU/MODE CHK] を押してメニューを終了する

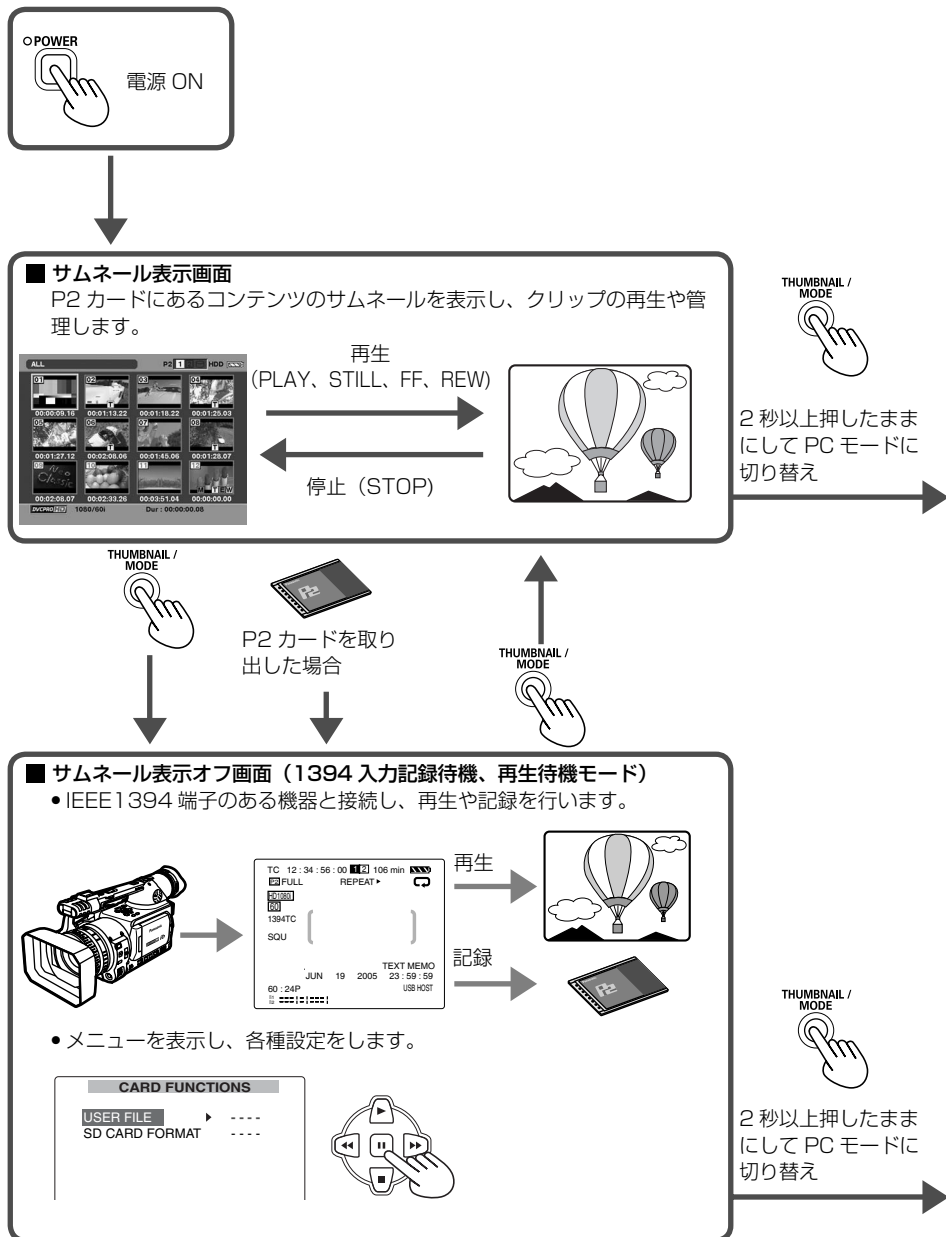
サムネール表示オフ画面のメニュー操作は、74 ページの「設定メニューの基本操作」を参照してください。

2 、 を押して、メニューの反転表示を移動させて項目を選ぶ

基本の操作 (つづき)

操作モードについて

本機には、次の3種類のモードがあり、[THUMBNAIL/MODE]を押して切り替えできます。

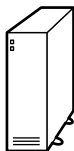


■ PC モード

外部機器と接続し、クリップの保存や管理を行います。接続のしかたや用途によって、「USB HOSTモード」、「USB DEVICEモード」、「1394 HOSTモード」、「1394 DEVICEモード」があり、各モードの設定はサムネール表示オフ画面の設定メニューで行います。

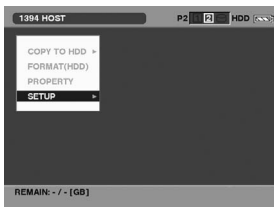
● USB HOSTモード

USB 端子のある機器と接続し、接続機器を操作します。



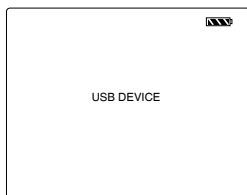
● 1394 HOSTモード

IEEE 1394 端子のある機器と接続し、接続機器を操作します。



● USB DEVICEモード / 1394 DEVICEモード

IEEE 1394 または、USB 端子のある機器と接続し、接続機器から本機の P2 カードのデータを操作します。



POWER



電源 OFF (PC モードを終了する)

- HDD へのアクセス中は、電源を切らないでください。

基本の操作 (つづき)

液晶モニターの設定

1 [POWER] を 2 秒以上押しして電源を ON にする

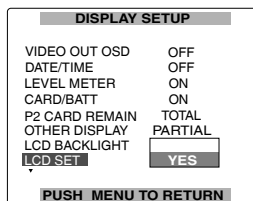
液晶モニターに映像が映っていることを確認したあと、画面が一番見やすい位置になるように液晶モニターの角度を調節してください。

2 [THUMBNAIL/MODE] を押ししてサムネール表示オフ画面にする

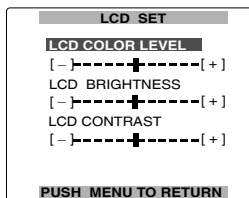
3 [MENU/MODE CHK] を押す

• 設定メニューの基本操作 (→ 74 ページ)

4 ▢、△、□で設定メニュー「DISPLAY SETUP」画面の「LCD SET」項目で、YES を選択する



5 設定する項目を▽、△で選ぶ



LCD COLOR LEVEL: 画面の色濃度を調整します。

LCD BRIGHTNESS: 画面の明るさを調整します。

LCD CONTRAST: 画面のコントラストを調整します。

6 選んだ項目を▷または◁で調整する

7 [MENU/MODE CHK] を 3 度押しして、メニューモードを解除する。

• [RESET/TC SET] を押すと選択項目の調整値を工場出荷時の状態に戻すことができます。

カレンダーをあわせる

「CLOCK SET」の値は、コンテンツ（クリップ）に記録され、サムネールによる再生順序に影響します。記録の前に、必ず「CLOCK SET」と「TIME ZONE」を確認・設定してください。カレンダーを2007年5月25日午後5時20分に設定する手順を示します。

1 [POWER] を2秒以上押して電源をONにする

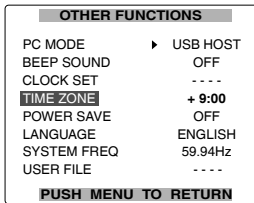
2 [THUMBNAİL/MODE] を押してサムネール表示オフ画面にする

3 [MENU/MODE CHK] を押す

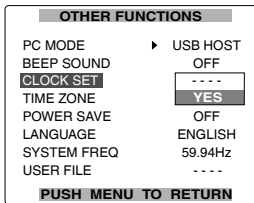
- 設定メニューの基本操作（→74ページ）

4 設定メニュー「OTHER FUNCTIONS」画面の「TIME ZONE」項目で、グリニッジ標準時間からの時差を \square 、 \triangle で変更し、 \square を押す。（→82ページ）

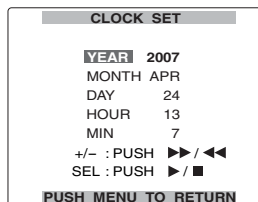
日本で使う場合、「+9:00」（工場出荷モード）に設定します。



5 設定メニュー「OTHER FUNCTIONS」画面の「CLOCK SET」項目でYESを選ぶ。

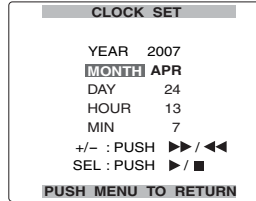


6 \square または \triangle を押して、「YEAR」を「2007」にする。

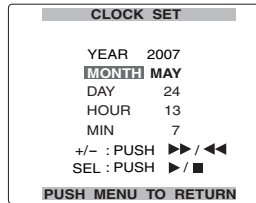


2000から2030まで設定できます。

7 \square を押して、設定の項目を「MONTH」に移動する。

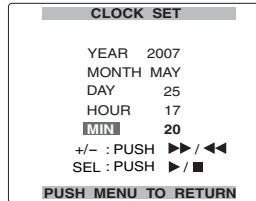


8 \square または \triangle を押して、「MONTH」を「MAY」にする。



9 手順4、5と同様の方法で、「DAY」・「HOUR」・「MIN」を設定する。

- 「HOUR」は24時間表示です。



10 [MENU/MODE CHK] を3度押して、メニューモードを解除する。

- 時刻には誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。
- 海外で使う場合、「CLOCK SET」項目を現地時間に合わせるのではなく、「TIME ZONE」によるグリニッジ標準時間からの時差入力を行ってください。

P2 カードについて

P2 カードの挿入

• 本機を最初に使用するときは、必ず内蔵の時計の設定を、先に行ってください。(→ 23 ページ)

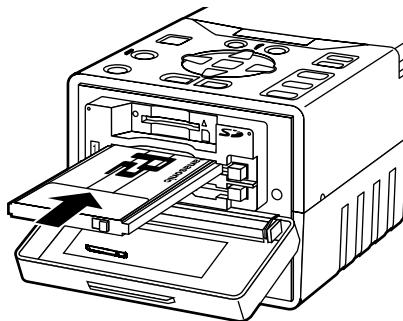
1 [POWER] を 2 秒以上押して電源を ON にする

2 カードスロットカバーを開けて、P2 カードを P2 カードスロットに奥までしっかり差し込む

- 本機に P2 カードを挿入すると、P2 カードアクセス LED により P2 カードの状態表示を行います。

P2 カードの状態表示については「P2 カードアクセス LED と P2 カードの状態について」を参照してください。

3 カードスロットカバーを閉じる









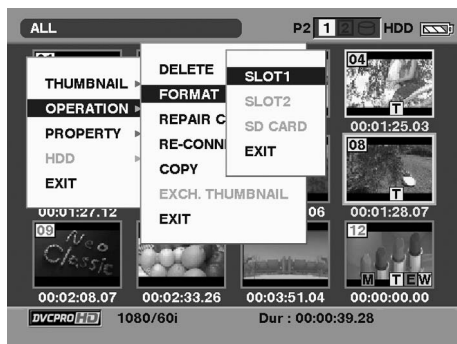
P2 カードアクセス LED と P2 カードの状態について

P2 カードアクセス LED	P2 カードの状態
緑色に点灯	書き込み／読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	書き込み／読み出しとも可能で、現在記録の対象になっています。
オレンジ色の点滅	現在、書き込み／読み出し中です。
オレンジ色の早い点滅	P2 カード認識中です。
緑色の点滅	P2 カードのメモリー残量がありません。読み出しのみ可能です。 P2 カードのライトプロテクトスイッチが「PROTECT」側になっています。読み出しのみ可能です。
消灯	P2 カードが正規のフォーマットをされていません。本機でフォーマットをやり直してください。 本機では使用できないカードです。カードを交換してください。 P2 カードが挿入されていません。 USB DEVICE モードで P2 カードにアクセスしていません。

- P2 カードの状態を詳細に確認することができます。
41 ページの「P2 カードの状態を表示する」を参照してください。

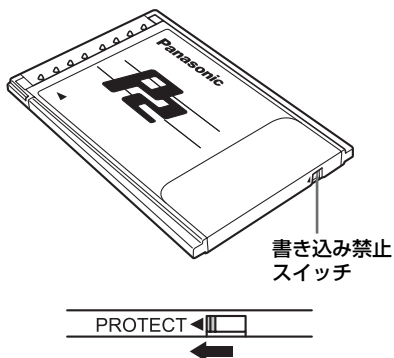
P2 カードのフォーマット

- 1 [POWER] を 2 秒以上押して電源を ON にする
サムネール表示画面になります。
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 、、で「OPERATION」－「FORMAT」を選んでを押す
 - 下記のような画面が表示されますので、フォーマットしたい P2 カードが挿入されたスロット番号を選び、選択します。フォーマットしない場合は「EXIT」を選択してください。
 - [MENU/MODE CHK] を押すと、メニュー表示が消えます。
- 4 確認の画面で「YES」を選んでを押す
 - 選択した P2 カードがフォーマットされます。
- 5 完了メッセージが表示されたら「OK」()を押す



P2 カードの保護について

P2 カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2 カードの書き込み禁止スイッチを「PROTECT」側にします。



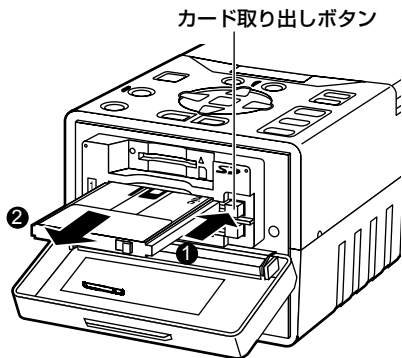
P2 カードについて (つづき)

P2 カードを取り出す

1 冂を押す

取り出したいP2カードのアクセスLEDがオレンジ色の点滅しているときは、冂を押して点滅を停止させてください。

2 カードスロットカバーを開けて、カード取り出しボタンを1回押し、ボタンが出たらもう一度押す。



3 P2カードを取り出したあと、カードスロットカバーを閉じる

- P2カード故障の原因となりますので、以下の期間は、P2カードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

① P2カード挿入後、P2機器のオレンジ色のP2カードアクセスLEDの点滅が、点灯に変わるまでの間。

② 記録中や記録終了処理中、およびP2カードアクセスLEDが点滅している間。

- 万が一、フォーマットやアクセス中のP2カードを取り出した場合、液晶モニターに“TURN POWER OFF”と表示されます。この場合、電源を入れ直してください。

フォーマット中に取り出したとき：

フォーマットをやり直してください。

アクセス中に取り出したとき：

クリップ(→30ページ)が不正規の状態になることがあります。クリップをご確認の上、修復を行ってください。(クリップの修復について→36ページ)

- 再生中は、他の空きスロットにP2カードを挿入しても認識されず、P2カードアクセスLEDは点灯しません。再生が終了してから、P2カードの認識を始めます。
- サムネールが表示されているとき、P2カードを取り出すとサムネール表示画面は解除されます。

P2カード使用上の注意

P2カードは必ずP2機器でフォーマットしてご使用ください。

P2 カードの記録時間について

品番	容量	DVCPRO/DV Audio 2CH	DVCPRO50 Audio 4CH	DVCPRO HD ^{*1}
AJ-P2C004HG	4 GB	約 16 分	約 8 分	約 4 分
AJ-P2C008HG	8 GB	約 32 分	約 16 分	約 8 分
AJ-P2C016RG	16 GB	約 64 分	約 32 分	約 16 分

- AJ-P2C002SG (2 GB) のカードは使用できません。
- 表示容量には管理領域等が含まれており、記録に使用できる容量はこれより少なくなります。
- P2 カードに記録されるクリップの分割について

本機で 8 GB 以上の P2 カードを使用した場合、1 回の連続記録時間が下表に示す時間を超えると、自動的に別のクリップとして記録を継続します。なお、P2 機器にてクリップのサムネール操作 (表示、削除、修復、コピーなど) を行う場合は、1 つのクリップとして操作できます。ノンリニア編集ソフトおよびパソコンなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

記録フォーマット	記録時間
DVCPRO HD ^{*1}	約 5 分
DVCPRO50	約 10 分
DVCPRO/DV	約 20 分

※ 1 本機では、DVCPRO HD フォーマットの 720P/30PN、720P/24PN、720P/25PN は、記録できません。

- 上記以外のカードを使用する場合は、本機搭載ドライバーのアップデートが必要になることがあります。(→ 92 ページ)

種
別

その他

USER ボタンの活用


USER1 ~ 3 ボタンには、10 種類の機能から 1 つの機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。工場出荷時の設定では、以下の機能が各ボタンに割り当てられています。

USER1 : SYS FORMAT
USER2 : SHOT MARK
USER3 : TEXT MEMO

詳しくは、設定メニュー「SW MODE」画面の USER1 ~ 3 項目 (→ 78 ページ) を参照してください。

- [USER] に割り当てた内容は、サムネール表示オフ画面で [MENU/MODE CHK] を 2 秒以上押ししたままにすると、押ししているときに表示されます。
- モードによっては、割り当てた機能が動作しないことがあります。

内蔵電池の充電

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。液晶モニター画面に  の表示が出るときは、内蔵電池が消耗しています。以下の方法で充電してください。充電完了後、日時を設定してください。


1 本機に AC アダプターを接続する

本機の電源は、OFF のままにします。

2 約 4 時間、そのままの状態にしておく

内蔵電池が充電されます。

充電を行ったあとは、TC やメニューを確認してください。

充電後も  が表示される場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

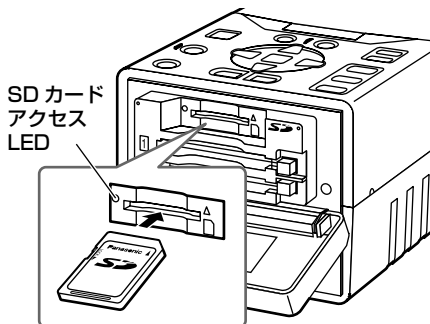
SD/SDHC メモリーカードを使う

SD / SDHC メモリーカード（以後、両カードとも SD メモリーカードと記載します。）を使って、USER ファイルの保存・読み込みができます。（→ 29 ページ）

SD メモリーカードの取り付け・取り外し

<取り付け>

- 1 カバーを開け、カードの向きに注意して入れる
- 2 カバーを閉じる

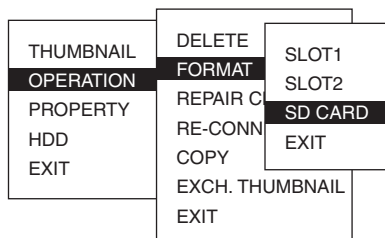


<取り外し>

- 1 カバーを開け、SD カードアクセス LED が点灯していないことを確認する。
- 2 カードをさらに本体側へ押し込み、カードをつまんで取り出す。
- 3 カバーを閉じる

SD メモリーカードのフォーマット

- 1 [POWER] を 2 秒以上押しで電源を ON にする
サムネール表示画面になります。
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 ◁, ▷, ◻ で「OPERATION」 - 「FORMAT」 - 「SD CARD」を選んで◻を押す
 - フォーマットしない場合は「EXIT」を選択してください。



- 4 確認の画面で「YES」を選んで◻を押す

- 選択した SD メモリーカードがフォーマットされます。

- 5 完了メッセージが表示されたら「OK」(◻)を押す

- 「CARD FUNCTIONS」画面の「SD CARD FORMAT」項目からもフォーマットできます。（→ 81 ページ）
- SDHC カードの場合、32 KB の容量は使用済みとなります。

SD メモリーカード使用上の注意

- 本機で使用する SD メモリーカードは SD 規格 / SDHC 規格に準拠したものをお使いください。また、SD メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。パソコンでフォーマットする必要がある場合は、専用ソフトウェアを下記のサポートサイトよりダウンロードしてご使用ください。本機では、以下の容量の SD メモリーカードが使用できます。

SD(8 MB ~ 2 GB まで):

8 MB	16 MB	32 MB	64 MB	128 MB
256 MB	512 MB	1 GB	2 GB	

SDHC(4 GB のみ):

4 GB

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

- SD メモリーカード使用時は、必ずカバーを閉じてください。
- 95 ページの「メモリーカードのご使用について」もご覧ください。

SD メモリーカードに USER ファイルを保存する

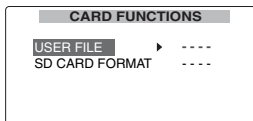
設定した設定値をファイルとしてそれぞれ4つまで、SD メモリーカードに保存、読み出しすることができます。

1 [THUMBNAIL/MODE] を押してサムネール表示オフ画面にする

2 [MENU/MODE CHK] を押す

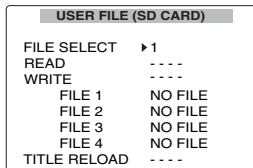
3 設定メニュー「CARD FUNCTIONS」画面の「USER FILE」を選択し、「YES」を選んで[ENTER]を押す。

- 設定メニューの基本操作 (→ 74 ページ)

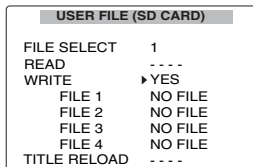


4 「FILE SELECT」を選んで[ENTER]を押す

5 [ENTER]または[DOWN]でファイル番号 (1 ~ 4) を選んで[ENTER]を押す

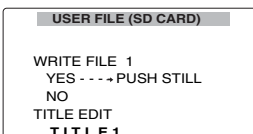


6 [DOWN], [LEFT] で「WRITE」を選んで[ENTER]を押す



7 [LEFT], [RIGHT] で「YES」を表示させ、[ENTER]を押す

- 下図の場合は、「TITLE 1」がファイル名になります。
- 書き込みが完了すると、「WRITE OK」が表示されます。
- 書き込みされた USER ファイルが白色の表示になります。



8 [MENU/MODE CHK] を4回押して、メニューモードを解除する

ファイルにタイトルを付けるには

- 1) 手順 1 ~ 6 を行う。
- 2) [LEFT], [RIGHT] で文字を選び、[DOWN] で次の文字に移動する。
 - 入力できる文字数は 8 文字です。
 - 入力できる文字は以下の通りです。
(スペース)、A ~ Z、0 ~ 9、: ; < = > ?
@[¥] ^ _ . /
 - 本体の [RESET/TC SET] ボタンで全文字を消去できます。
- 3) すべての入力が終わったら、文字の左端で [DOWN] (または右端で [LEFT]) を押し、[RIGHT] で「YES」を表示させて [ENTER] を押す。
 - 書き込みが完了すると、「WRITE OK」が表示されます。

ファイルを読み出すには

- 1) 手順 1 ~ 5 を行う。
- 2) [LEFT], [RIGHT] で「READ」に移動して「YES」を表示させ、[ENTER] を押す。
 - ファイル読み込みが行われます。
- 3) 読み込み後、「TURN POWER OFF」が表示されたら、一度電源を切ってから、再度電源を入れてください。読み込んだファイルが設定されます。

SD メモリーカードからファイルを再読み込みするには

- 1) 手順 1 ~ 3 を行う。
- 2) [LEFT], [RIGHT] で「TITLE RELOAD」に移動して「YES」を表示させ、[ENTER] を押す。
 - ファイルの再読み込みが行われます。

- 「WRITE NG FORMAT ERROR」が表示された場合は、SD メモリーカードをフォーマットしてください。(→ 28 ページ)
- 「WRITE NG WRITE PROTECT」が表示された場合は、SD メモリーカードのプロテクトを解除してください。
- 「WRITE NG CANNOT ACCESS」が表示された場合は、その他の動作 (再生中など) を終了してから操作してください。
- 「WRITE NG ERROR」が表示された場合は、SD メモリーカードの不良が考えられます。交換してください。

サムネール表示

P2 カードでの 1 回の撮影によってできた映像データを、クリップと呼びます。本機の電源を ON にしたときに、液晶モニターに各クリップがサムネール表示されます。(クリップ数が多い場合、表示されるまでに時間がかかります。)

再生フォーマットについて

本機で再生できるフォーマットは以下になります。

DVCPRO HD

- 1080i/60i (30P over 60i, 24P over 60i, 24PA over 60i) ※
- 1080i/50i (25P over 50i)
- 720P/60P (30P over 60P, 24P over 60P) ※
- 720P/30PN (ネイティブ記録) ※
- 720P/24PN (ネイティブ記録) ※
- 720P/50P (25P over 50P)
- 720P/25PN (ネイティブ記録)

DVCPRO50/25、DV

- 480i/60i (30P over 60i, 24P over 60i, 24PA over 60i)
- 576i/50i (25P over 50i)

※ 24P は 23.98P 30P は 29.97P 60P は 59.94P 60i は 59.94i

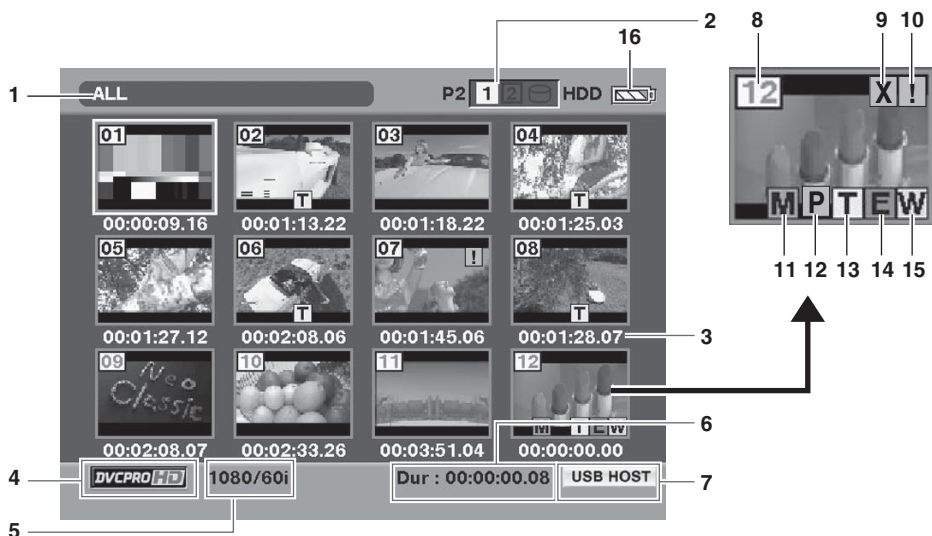
再生フォーマットの切り替え

記録フォーマットが異なるクリップを再生するには、再生フォーマット切り替えを行います。

- 再生できないクリップのクリップ番号は赤色で表示されています。

- [THUMBNAIL/MODE] を押してサムネール表示オフ画面にする
- [MENU/MODE CHK] を押す
- ◁、△、▷ で「RECORDING SETUP」 - 「SYS FORMAT」を選び、□を押す。
- ◁、△ でフォーマットを選び、□を押す。
- [MENU/MODE CHK] を 2 回押してメニューを終了する
- [THUMBNAIL/MODE] を押してサムネール表示画面にもどる
 - [USER] に「SYS FORMAT」を割り当てることで、サムネール表示オフ画面でフォーマットを切り替えることができます。(→ 78 ページ)
 - 工場出荷時は [USER 1] に割り当てられています。

サムネール表示画面各部の名称とはたらき



THUMBNAIL

- ALL CLIP
- SAME FORMAT CLIPS
- SELECTED CLIPS
- MARKED CLIPS
- TEXT MEMO CLIPS
- SLOT CLIPS
- SETUP
- EXIT

OPERATION

- DELETE
- FORMAT
- REPAIR CLIP
- RE-CONNECTION
- COPY
- EXCH. THUMBNAIL
- EXIT

PROPERTY

- CLIP PROPERTY
- CARD STATUS
- DEVICES
- PROPERTY SETUP
- SYSTEM INFO
- EXIT

HDD

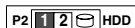
- EXPORT
- EXPLORE
- SETUP
- EXIT

1 表示状態

画面に表示されている情報の種類が、次のように示されます。

ALL:	すべてのクリップ
SAME FORMAT:	システムフォーマットと同じフォーマットのクリップ
SELECT:	STILL ボタンで選択したクリップ
MARKER:	ショットマークが付加されたクリップ
TEXT MEMO:	テキストメモデータがあるクリップ
SLOT n:	n 番スロットの P2 カード内のクリップ
PROPERTY:	クリップの詳細情報
P2/REMAIN:	メディア情報 (残量表記)
P2/USED:	メディア情報 (使用量表記)

2 P2 カードスロット番号・HDD 状態



P2 カードおよび USB HDD の状態が、次のように表示されます。

(白色)	P2 カードが挿入されている P2 カードスロット番号が白色で表示されます。
(黄色)	カーソル位置のクリップが記録されている P2 カードの P2 カードスロット番号が、黄色で表示されます。クリップが複数の P2 カードにまたがって記録されているときは、そのクリップが記録されたカードのスロット番号すべてが表示されます。挿入された P2 カードが以下のような場合に、P2 カードスロット番号がピンク色で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 「RUN DOWN CARD」 (→ 68 ページ) カードの書き換え回数が規格を超えた場合 • 「DIR ENTRY NG CARD」 (→ 68 ページ) フォルダーの配置が規格に準拠していない場合
(灰色)	USB HOST モード以外か、USB HOST モードになっているが HDD が非接続のとき、灰色で表示されず。
(白色)	USB HOST モードになっていて、HDD が使用可能のとき、白色で表示されます。
(黄色)	USB HOST モードになっていて、HDD のクリップがサムネール表示されているとき、黄色で表示されます。
(赤色)	USB HOST モードになっていて、HDD がコピー可能な状態でないときに赤色で表示されます。

(次ページへつづく)

サムネール表示 (つづき)

サムネール表示画面各部の名称とはたらき (つづき)

3 時間表示 (→ 34 ページ)

設定により、クリップの記録開始時点のタイムコード／クリップの記録開始時点のユーザーズビット／撮影時刻／撮影日／撮影日時／USER CLIP NAME のいずれかを表示します。

4 記録モード

カーソルの位置のクリップの記録モードが表示されます。

5 システムフォーマット

カーソルの位置のクリップの記録フォーマットが表示されます。

6 デュレーション

カーソルの位置のクリップのデュレーションが表示されます。

7 USB HOST モードインジケータ



USB HOST モードに切り替わっている場合に表示されます。

8 クリップ番号

P2 カード内の正しく認識されているすべてのクリップに、本機が設定した番号です。番号は、撮影日時が早い順に割り振られます。記録フォーマットが異なるクリップなど、再生できないクリップは赤色で表示されます。

9 不良クリップインジケータ

不明クリップインジケータ

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示されます。黄色の不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復が可能な場合があります。詳しくは「クリップの修復」(→ 36 ページ)を参照してください。赤色の不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できないときは、P2 カードをフォーマットしてください。フォーマットなどが異なるクリップの場合、 の代わりに  が表示されます。

10 不完全クリップインジケータ

複数の P2 カードにまたがって記録されているにもかかわらず、その内のいずれかの P2 カードが、P2 カードスロットに挿入されていないときなどに表示されます。

11 ショットマークインジケータ

サムネールにショットマークが付加されたクリップに表示されます。

12 プロキシ付きクリップインジケータ

プロキシが付加記録されているクリップに表示されます。

13 テキストメモインジケータ

テキストメモデータがあるクリップに表示されます。

14 エディットコピークリップインジケータ

AJ-HPM100 など、エディットコピー対応機種でエディットコピーを行ったクリップに表示されます。エディットコピーについて、詳しくはエディットコピー対応機種取扱説明書を参照してください。



15 ワイドインジケータ


16:9 の画角で記録されたクリップに表示されます。ただし HD のフォーマットのクリップは表示しません。

16 バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれ、、

、、 と変わります。

容量がなくなると、 (または ) が赤色の表示に変わります。

(AC アダプター使用時に  以外が表示される場合がありますが、問題ありません。)

サムネール表示画面の表示の変更

使用状況に応じてサムネール表示画面をカスタマイズし、効率よく操作を行うことができます。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 ◀、▶、⏪ で「THUMBNAIL」の下位の、表示するクリップの種類を選んで▶を押す



ALL CLIP :	すべてのクリップを表示するとき
SAME FORMAT CLIPS :	記録フォーマットと同じフォーマットのクリップを表示するとき
SELECTED CLIPS :	STILL ボタンで選択したクリップを表示するとき
MARKED CLIPS :	ショットマークが付加されたクリップを表示するとき
TEXT MEMO CLIPS :	テキストメモデータがあるクリップを表示するとき
SLOT CLIPS :	n 番スロットの P2 カード内のクリップを表示するとき
SETUP :	サムネール表示のインジケータやデータ設定の切り替えを行います。
EXIT :	1 つ前のメニューに戻ります。

サムネール表示 (つづき)

表示する項目を設定する

用途にあわせ、サムネールの表示方法をカスタマイズできます。サムネール表示のインジケータやデータ設定の切り替えを行います。

1 サムネール表示画面にする

2 [MENU/MODE CHK] を押す

3 、、 で [THUMBNAIL] - [SETUP] の下位の、設定したい項目を選んで を押す

ALL HIDE :	ON	インジケータをすべて非表示
	OFF	以下のメニューの設定に従って表示
MARKER IND. :	ON	ショットマークインジケータを表示
	OFF	ショットマークインジケータを非表示
TEXT MEMO IND. :	ON	テキストメモインジケータを表示
	OFF	テキストメモインジケータを非表示
WIDE IND. :	ON	ワイドインジケータを表示
	OFF	ワイドインジケータを非表示
PROXY IND. :	ON	プロキシインジケータを表示
	OFF	プロキシインジケータを非表示
DATA DISPLAY :	時間表示部 (32 ページの「サムネール表示画面各部の名称とはたらき」の 3 を参照) に表示する内容を選択する	
	TC	タイムコード
	UB	ユーザズビット
	TIME	記録時刻
	DATE	記録日
	DATE TIME	記録日時
	USER CLIP NAME	ユーザーが設定したクリップの名称



DATE FORMAT :	記録日時の表示書式を選択する
	Y-M-D 年月日
	M-D-Y 月日年
	D-M-Y 日月年
	<ul style="list-style-type: none"> この設定は、クリップのプロパティで表示される記録日、DATA DISPLAY で DATE を選択したときに表示される記録日時、HDD の情報表示 (→ 59 ページ) で表示されるパーティション記録日時など各種ファイル表示の作成日時にも反映されます。
THUMBNAIL SIZE :	液晶モニターの一画面に表示されるサムネールの大きさ
	LARGE 大きい
	NORMAL 標準
PLAYBACK RESUME :	再生を停止したクリップからカーソルを動かさなかった場合に、次の再生を停止した位置から行う
	ON 停止位置から再生
	OFF クリップの先頭から再生
THUMBNAIL INIT :	上記サムネールの表示設定を、工場出荷状態 (初期値) に戻す
	YES 工場出荷状態 (初期値) に戻す
	NO 工場出荷状態 (初期値) に戻さない
EXIT :	1 つ前のメニューに戻ります。

_____ は工場出荷モードです。

クリップの管理

クリップを選択する


サムネール表示画面で操作を行うとき、操作の対象となるクリップを次のように選択します。

1  または 、黄色い枠（カーソル）を対象のクリップにあわせる

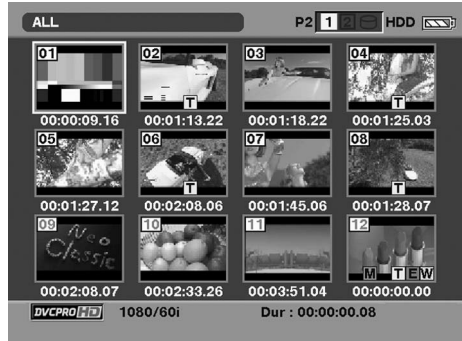
2  を押す

カーソルをあわせたクリップに青緑色の枠が表示され、選択状態になったことを表します。

選択を解除するには

1 選択状態のクリップにカーソルをあわせ、再度  を押す

選択が解除されます。



- 1～2の操作を繰り返すと、複数のクリップを選択できます。
- ページ移動をするには、 または  を押します。





クリップを削除する


不要なクリップは、次の操作で P2 カードから削除できます。


1 サムネール表示画面にする

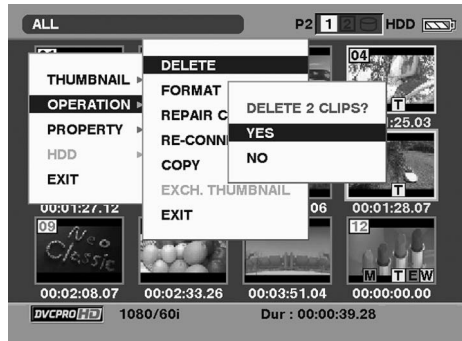
2 削除するクリップを選択する



3 [MENU/MODE CHK] を押す

4 , ,  で「OPERATION」 - 「DELETE」を選んで  を押す

5 「YES」を選んで  を押す

6 完了メッセージが表示されたら「OK」() を押す









-  不良クリップインジケータや  不明クリップインジケータが表示されたクリップは、削除できないことがあります。


クリップの管理 (つづき)

クリップを修復・連結する


不良クリップの修復






記録中、急に電源が切れるなどの原因で発生した、不具合のあるクリップには不良クリップインジケーター (黄色の ) が表示されます。不具合のあるクリップは、次の操作で修復できます。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 修復するクリップを選択する
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 、、で「OPERATION」 - 「REPAIR CLIP」を選んでを押す
- 5 [YES] を選んでを押す

- 壊れかたによっては修復できないときがあります。そのときは赤色の が表示されます。

不完全クリップの連結

複数の P2 カードにまたがって記録されているクリップが連続したクリップとして認識されず、不完全クリップ ( インジケーター) になることがあります。このとき連結機能を使って、連続したクリップ (元の連結したクリップ) に復元することができます。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 連結する不完全クリップを選択する
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 、、で「OPERATION」 - 「RE-CONNECTION」を選んでを押す
- 5 [YES] を選んでを押す

不完全クリップは以下のようなときにできます。

- 複数の P2 カードに記録されたクリップを、P2 カードごとに別々にコピーしたとき。
- 複数カードに記録されたクリップを、カードごとに別々に HDD へコピー後、P2 カードへ書き戻したとき。
- DVCPRO HD で約 5 分以上 (DVCPRO50 では約 10 分、DVCPRO、DV は約 20 分以上) の長いクリップを HDD へコピー後、P2 カードに書き戻したとき。

- 通常、不完全クリップインジケーターのサムネールは、並んで表示されています。
- 3 つ以上に分かれた不完全クリップの一部分のクリップだけを連結しても、元のクリップを構成するすべてのクリップを連結するまでは、不完全クリップインジケーターが付いたままになります。

クリップをコピーする

クリップを、任意の P2 カードスロットの P2 カードにコピーできます。

- コピー中に電源を OFF にしたり、カードを抜き差ししたりしないでください。不良クリップができます。不良クリップができてしまった場合は、クリップを削除してから、再度コピーを行ってください。
- 不完全クリップは連結したあとでコピーしてください。

1 サムネール表示画面にする

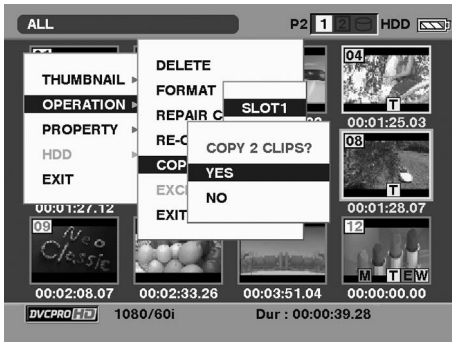
2 コピーするクリップを選択する

3 [MENU/MODE CHK] を押す

4 、、 で「OPERATION」－「COPY」－「SLOT n」（コピー先 P2 カードスロット番号）を選んで を押す

5 「YES」を選んで を押す



クリップのコピーが開始されます。



次のエラーメッセージが表示されたときは、コピーは行われません。

- [LACK OF REC CAPACITY!]
コピー先の記録容量が不足しているため、コピーは行われせん。
- [UNKNOWN CONTENTS FORMAT!]
選択したクリップに不良クリップが含まれているため、コピーは行われせん。
- [NO COPY TO SAME CARD!]
同一カードへコピーしようとしたため、コピーは行われせん。
- [TOO MANY CLIPS!]
選択したクリップが多すぎるため、コピーは行われせん。

- 不良クリップインジケータが表示されたクリップは、コピーできません。
- 不明クリップインジケータが表示されたクリップは、コピーできないことがあります。

- 途中でコピーを中止するには、 を押してキャンセルしてください。途中までコピーされたコピー先のクリップは削除されます。
- コピー先に以前コピーするなどした同一クリップ（GLOBAL CLIP ID が同じ）が存在するときは、「OVER WRITE」と表示されます。上書きを行うときは YES を、コピーを行わないときは NO を選択し、 を押してください。（P2 カードに、またがって記録された別のクリップをコピーするときも、「OVER WRITE」と表示されます）

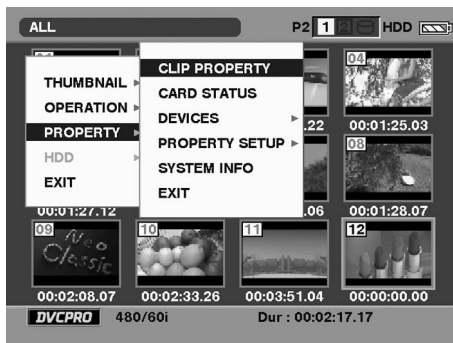
6 完了メッセージが表示されたら「OK」（）を押す

クリップの管理 (つづき)

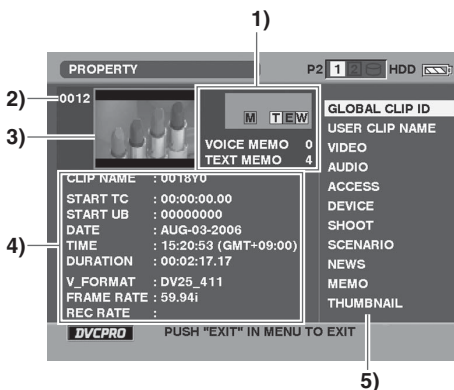
クリップ情報を表示する

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 \triangleright または \triangleleft で、対象のクリップにカーソルをあわせる
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 \square 、 \triangle で「PROPERTY」を選んで \square を押す
- 5 表示されたサブメニューの「CLIP PROPERTY」を選んで \square を押す



選択したクリップに関する情報が表示されます。



1) クリップ付加情報 (→ 32 ページ)

クリップに挿入された各種インジケーター、挿入されているテキストメモやボイスメモの数が表示されます。また、クリップが記録された P2 カードに、ライトプロテクトがかけられているとき、 \mathbb{P} マークが表示されます。

- **ボイスメモ／インジケーター**
ボイスメモが付加されたクリップに表示されます。クリッププロパティモードのときのみ表示されます。
- 本機ではボイスメモの記録／再生は行えません。

2) クリップ番号

3) サムネール

4) クリップ情報

次の情報が表示されます。

CLIP NAME :	クリップ名
START TC :	記録開始時のタイムコード
START UB :	記録開始時のユーザースピットの値
DATE :	記録した日付
TIME :	記録開始時の時刻
DURATION :	クリップの長さ
V_FORMAT :	クリップの記録フォーマット
FRAME RATE :	再生フレームレート
REC RATE :	記録フレームレート (カメラレコーダーで特殊な記録をしたクリップで表示される)

◀または▶を押すと、前後のクリップの情報が表示されます。

5) クリップメタデータ

クリップの詳細情報 (クリップメタデータ) を参照するための項目が表示されます。

6 必要に応じてクリップメタデータの内容を参照する



◀、▶でクリップメタデータの項目を選んで▶を押すと、次の情報が表示されます。

GLOBAL CLIP ID :	グローバルクリップID (同じ番号が他のクリップに付くことがない、世界で唯一の番号)
USER CLIP NAME :	ユーザーが付けることのできるクリップネーム 通常は GLOBAL CLIP ID が入っています。
VIDEO :	ビデオ信号方式など (フレームレート、ブルダウン、アスペクト比)

AUDIO :	オーディオの各チャンネル方式など (サンプリングレート、ビットレート)
ACCESS :	最終更新日など (作成者、作成日、最終更新日、最終更新者)
DEVICE :	記録した機器のシリアル番号など (機材メーカー名、シリアル番号、モデル名)
SHOOT :	記録開始、終了した日付など (撮影者、撮影開始日、撮影終了日、撮影地情報、高度、経度、緯度、撮影地情報源、撮影地)
SCENARIO :	番組名、シーン No. など (プログラム名、シーン番号、テイク番号)
NEWS :	レポーター、取材対象など (レポーター、取材目的、取材対象)
MEMO :	TEXT MEMO の番号、位置、名前、テキスト内容 (No.、記録位置、メモ入力者、テキスト情報) <ul style="list-style-type: none">• OFFSET については、先頭からのフレーム数で表します。サムネールのテキストメモ表示では、この OFFSET を TC に直して表示しています。• TEXT 内容は最大 1000 文字添付可能ですが、表示は先頭の 100 文字を表示します。• テキスト番号は左右カーソルで動かします。
THUMBNAIL :	サムネール画像の情報 サムネールの元となる画像のフレーム位置や、サイズ (フレームオフセット、高さ、幅) を表示します。

7 [MENU/MODE CHK] を押して、「EXIT」を選んで終了する

クリップの管理 (つづき)

クリップ情報を編集する

クリップ情報を編集することができます。

- サムネール表示画面にする
- ▶**または**◀**で、対象のクリップにカーソルをあわせる
- [MENU/MODE CHK]** を押す
- ▽**、**△**、**□**で「PROPERTY」－「CLIP PROPERTY」を選んで**□**を押す
 - クリップ情報が表示されます。
- ▽**、**△**で編集する項目を選んで**□**を押す
- 編集する項目のウィンドウが表示されるので、**△**で項目名を選んで**□**を押す
- 編集キーボードウィンドウが表示されるので、**▶**、**◀**、**▽**、**△**でキーを選択、**□**で決定しながら編集する
- または**△**で「OK」を選んで**□**を押して編集を終了する
 - つづけて項目を編集する場合は、手順6～8を繰り返してください。
- ▽**、**△**で「OK」を選んで項目の表示を終了する
- [MENU/MODE CHK]** を押して、「EXIT」を選んでクリップ情報画面を終了する

USER CLIP NAME	: 05F00080458200000002										
USER CLIP NAME :	060A2B340101010501010D4313000000C2A90ADE46 1505F00080458200000002										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	SP	BS
q	w	e	r	t	y	u	i	o	p	-	Caps
a	b	d	f	g	h	j	k	l	.	_	OK
z	x	c	v	b	n	m	◀	▶	▶▶	▶▶▶	EXIT

次の情報が編集できます。

USER CLIP NAME	ユーザーが設定したクリップの名称を表示 初期値はグローバルクリップ ID が設定	
ACCESS	CREATOR	収録者名
SHOOT	SHOOTER	撮影者名
	LOCATION	ALTITUDE 撮影地の高度
		LONGITUDE 撮影地の経度
		LATITUDE 撮影地の緯度
	PLACE NAME	場所の名前
SCENARIO	PROGRAM NAME	番組名
	SCENE NO	シーンナンバー
	TAKE NO	テイクナンバー
NEWS	REPORTER	レポーター名
	PURPOSE	取材目的
	OBJECT	取材対象
MEMO	PERSON	クリップに付加されたテキストメモの記録者
	TEXT	テキストメモの内容

- 「LONGITUDE」および「LATITUDE」は単独では削除できません。また、削除する場合は、「ALTITUDE」を空白に設定してください。
- 不完全クリップインジケーター **■** が表示されたクリップのメタデータを修正する場合は、残りのクリップが記録された P2 カードを挿入してください。
- 100 文字以上添付されている MEMO 項目は、修正することができません。
- 「LONGITUDE」または、「LATITUDE」の編集時の項目移動に、**▶**や**◀**を使用する場合があります。

クリップにショットマークを挿入する

ショットマークを挿入すると、他のクリップと区別することができます。

1 サムネール表示画面にする

2 ◁または▷で、カーソルを対象のクリップにあわせる

3 ショットマーク機能を割り当てた [USER] を押す。(→ 27 ページ)

ショットマークを解除するには、上記操作を再び行ってください。

- 1 回の撮影によってできた映像データが複数のクリップで構成される場合、その映像データを構成するすべての P2 カードが、スロットに挿入されていないとショットマークの設定／解除はできません。
- 書き込み禁止スイッチが PROTECT になっているカードには挿入できません。
- ショットマークは記録中も挿入することができます。(→ 50 ページ)

P2 カードの状態を表示する

P2 カードスロットの状態や P2 カードの使用状況など、カードの情報を画面に表示して確認できます。

1 サムネール表示画面にする

2 [MENU/MODE CHK] を押す

3 ◁、▷、◻ で「PROPERTY」－「PROPERTY SETUP」－「P2 CARD CAP」を選んで◻を押す

4 ◁、▷で設定したい項目を選んで◻を押す

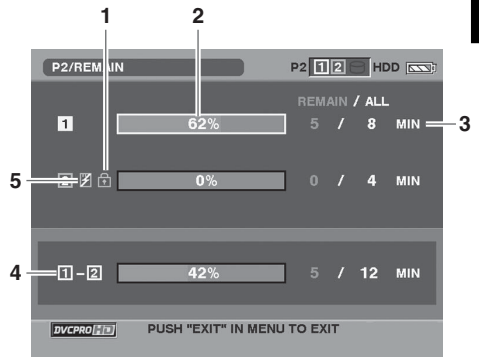
REMAIN : 残容量表示 (初期値)

USED : 使用済み容量表示

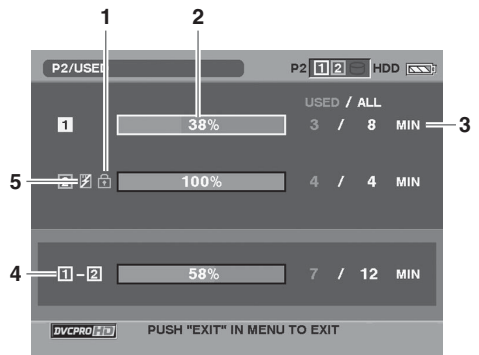
5 ◻を押す

6 ◁、▷で「CARD STATUS」を選んで◻を押す

[REMAIN を選択した場合]




[USED を選択した場合]



7 [MENU/MODE CHK] を押して、「EXIT」を選んで終了する

P2 カードの状態を表示する (つづき)

1) 書き込み禁止マーク

P2 カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークが表示されます。

2) P2 カード状態

記録残量表示のときは、P2 カードの記録残量がメーターとパーセントで表示されます。使用済み容量表示のときは、P2 カードの使用容量がメーターとパーセントで表示されます。また、カードの状態によって次のように表示されます。


FORMAT ERROR :	フォーマットされていないP2カードが挿入されている。
NOT SUPPORTED :	本機に対応していないカードが挿入されている。
NO CARD :	P2 カードが挿入されていない。

P2 カード詳細表示

P2 カード状態表示のスロットにカーソルを合わせて \square を押すと、P2 カードのモデル番号などの詳細情報が表示されます。もう一度 \square を押すと、詳細情報が消えます。

カードの状態が、次のように表示されます。

BRAND	: Panasonic
MODEL NO.	: AJ-P2C008HG
SERIAL NO.	: AEC06H0371
USER ID	:



3) P2 カード残量 (または使用容量) / 総容量


「再生フォーマットの切り替え」(→ 30 ページ)で設定したフォーマットにあわせて、P2 カードの記録残量 (または使用容量) / 総容量が、分に換算して表示されます。分以下は切り捨て表示のため、P2 カードごとの記録残量 (または使用容量) の合計と総容量が一致しないことがあります。

4) スロット記録残量 (または使用容量) 合計

2 つの P2 カードスロットの記録残量 (または使用容量) を総合計した数値が表示されます。

- ライトプロテクトがかかっている P2 カードの空き容量は、空き容量の合計に含まれません。

5) P2 カード警告表示

P2 カードの状態が以下の場合にが表示されます。警告の内容は、P2 カード詳細表示で確認できます。

- 「RUN DOWN CARD」:
カードの書き換え回数が規格を超えた場合
- 「DIR ENTRY NG CARD」:
フォルダーの配置が規格に準拠していない場合

SD メモリーカードの各種情報を表示する

SD メモリーカードの使用状況を画面に表示して確認できます。

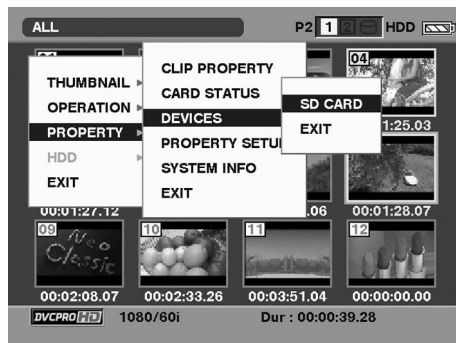
- 1 サムネール表示画面にする
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 ◁、△、▷で「PROPERTY」 - 「DEVICES」
- 「SD CARD」を選んで◻を押す

以下の情報が表示されます。

SD STANDARD :	SD メモリーカードが SD/SDHC 準拠でフォーマットしているか表示する。
	SUPPORTED : SD/SDHC 準拠
	NOT SUPPORTED : SD/SDHC 非準拠
USED :	使用済み容量 [バイト]
BLANK :	空き容量 [バイト]
TOTAL :	全容量 [バイト]
NUMBER OF CLIPS :	プロキシや P2 カムにて SD メモリーカードへクリップコピーを行ったときに、SD メモリーカードに入っているクリップ数
PROTECT :	書き込み禁止状態

・本機ではプロキシの記録はできません。

- 4 「OK」(◻) を押す
- 5 [MENU/MODE CHK] を押して処理を終了する



クリップの再生

クリップを再生する

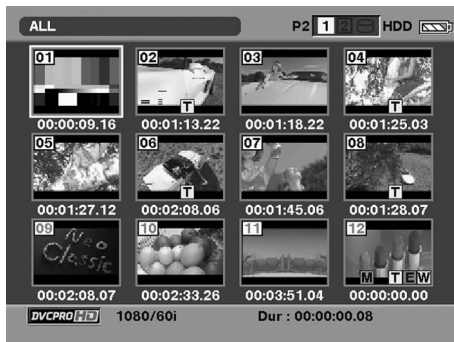
1 サムネール表示画面にする



2 または で、黄色い枠（カーソル）を対象のクリップにあわせる

3 を押す

カーソルをあわせたクリップから、再生がはじまります。カーソルをあわせたクリップの再生が終わると、それ以降の同じ再生フォーマットのクリップが順に再生され、最後のクリップの再生が終わるとサムネール画面に戻ります。

- [USER]に「TEXT MEMO」を割り当てると（→ 78 ページ）、再生中にテキストメモの挿入ができます。（ショットマークの挿入はできません。）



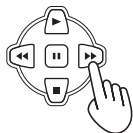
- クリップを再生するときには、クリップを選択（サムネールに青緑色の枠が表示された状態に）する必要はありません。
- 不良クリップインジケータ  や不明クリップインジケータ  （→ 32 ページ）の表示があるクリップは再生できません。
- サムネール表示設定を変更して、選択したクリップだけを再生したり、テキストメモが挿入されたクリップだけを再生したりすることができます。
- クリップ番号が赤色で表示されているクリップ（→ 32 ページ）は、再生できません。再生フォーマットをクリップの記録フォーマットに切り替えてください。（→ 30 ページ）
- テキストメモは、1 つのクリップに最大 100 個まで挿入できます。

再生の基本操作



再生する (▶)

停止中に押すと、選択されたクリップの頭から再生します。再生中に押すと、可変速サーチモード（→ 45 ページ）になり、× 1 倍速で再生します。



早送り再生をする (▶▶)

再生中に押すと、選択中のクリップ内で早送り再生します。（× 4 倍速）サムネール画面を解除しているときは、停止中でも行えます。押したままにすると、速度が速くなります。（× 32 倍速）一時停止中に押すと、クリップを 1 つ進めます。

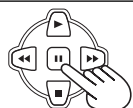


早戻し再生をする (◀◀)

再生中に押すと、選択中のクリップ内で早戻し再生します。（× 4 倍速）サムネール画面を解除しているときは、停止中でも行えます。押したままにすると、速度が速くなります。（× 32 倍速）一時停止中に押すと、クリップを 1 つ戻します。



停止する (■)



一時停止する (||)

再度押すと、再生に戻ります。

可変速サーチ

再生速度を変えて、場面を探すことができます。

1 再生中に、△ を押す

1X▷が表示されます。

2 を押して、再生速度を切り替える

X▷ / X▷▷または X◁ / X◁◁が表示されます。

- ボタンを押すごとに 1/5 倍速、1 倍速、2 倍速、4 倍速、12 倍速、24 倍速と再生速度が変更します。12 倍速、24 倍速では音声は再生されません。

- ◁で正方向に速度を変化させ、▷で逆方向に速度を変化させます。

通常の再生に戻すには、△ を押します。

クリップ送り / 戻し

1 再生中に、◁ を押して、一時停止状態にする

2 ▷または◁を押す

CLIP ◁▷または CLIP ◁◁が表示されます。

早送り / 早戻し再生

1 再生中に、▷または◁を押す

× 4 倍速で早送り / 早戻し再生します。押したままにすると、速度が早くなります。

(× 32 倍速)

▷▷ または ◁◁が表示されます。

通常の再生に戻すには、△ を押します。

コマ送り再生

1 再生中に、◁ を押して、一時停止状態にする

2 を押す

- ◁で正方向に▷で逆方向にコマ送ります。◁▷または ◁◁が表示されます。

- 押し続けると、連続してコマ送ります。

通常の再生に戻すには、△ を押します。

リピート再生

選択したクリップを繰り返して再生します。

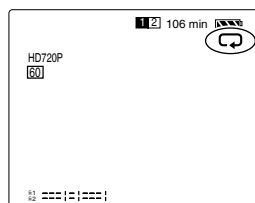
1 [THUMBNAIL/MODE] を押してサムネール表示オフ画面にする

2 [MENU/MODE CHK] を押す

3 ◁、△、▷で「PLAYBACK FUNCTIONS」 －「REPEAT PLAY」－「ON」を選んで◁ を押す

4 [MENU/MODE CHK] を 2 回押す

サムネール表示オフ画面にリピート再生アイコンが表示されます。



リピート再生
アイコン

5 [THUMBNAIL/MODE] を押してサムネール表示画面にする

6 ▷または◁で、黄色い枠（カーソル）をリピート再生するクリップにあわせて◁を押す

7 [MENU/MODE CHK] を押す

8 ◁、△、▷で「THUMBNAIL」－「SELECTED CLIPS」を選んで◁を押す

9 △ を押す

選択したクリップがリピート再生されます。

- ◁が押されるまで、繰り返し再生を行います。
- クリップを選択していない場合は、現在表示されている再生可能なすべてのクリップがリピート再生されます。
- リピート再生の設定を「OFF」にするには、手順 3 で「OFF」を選んでください。
- リピート再生中に早送り / 早戻し再生を行うと、再生可能なクリップの先頭のクリップまたは最後のクリップを再生後に停止します。

クリップの再生 (つづき)

テキストメモ位置からの再生

1 サムネール表示画面にする

2 [MENU/MODE CHK] を押す

3 **[F]**、**[A]**、**[D]** で「THUMBNAIL」 - 「TEXT MEMO CLIPS」を選んで**[E]**を押す

液晶モニター上段には、テキストメモが付加されたクリップのサムネールが表示されます。液晶モニター下段には、カーソルで選択されているクリップのテキストメモに関する情報が表示されます。



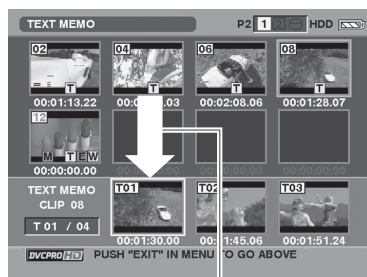
サムネール表示部

テキストメモが関連付けられた静止画像を表示

クリップに付加されたテキストメモの総数を表示

4 **[D]**と**[A]**で再生したいクリップにカーソルをあわせ、**[E]**を押す

カーソルが液晶モニター下段に移動します。



カーソルが移動します

5 **[D]**または**[A]**で、カーソルを再生したいテキストメモ番号にあわせ、**[E]**を押す

カーソルがあわされたテキストメモのタイムコード位置から再生します。クリップの終端で再生が終了すると、サムネール画面に戻り、再生を開始したタイムコード位置にカーソルが戻ります。

6 [MENU/MODE CHK] を押したあと、**[F]**、**[A]**で「EXIT」を選んで**[E]**を押す

カーソルがサムネール画面の上段に戻ります。

テキストメモは、クリップの再生中や、記録中に挿入することができます。

テキストメモの削除

- 1 「テキストメモ位置からの再生」の1～4の操作を行い、クリップ内のテキストメモを選択する
- 2 削除したいテキストメモにカーソルをあわせ \square を押す
- 3 [MENU/MODE CHK] を押したあと、 \square 、 \triangle 、 \square で「OPERATION」 – 「DELETE」を選んで \square を押す
- 4 「YES」を選んで \square を押す
テキストメモが消去されます。

テキストメモによるクリップ分割コピー

- 1 「テキストメモ位置からの再生」の1～4の操作を行い、クリップ内のテキストメモを選択する
- 2 コピーしたいテキストメモにカーソルをあわせ \square を押す
テキストメモは複数選択できます。
- 3 [MENU/MODE CHK] を押したあと、 \square 、 \triangle 、 \square で「OPERATION」 – 「COPY」を選んで \square を押す
- 4 \square または \triangle と \square でコピー先のスロットを選択し、「YES」を選んで \square を押す
コピーが実行されます。
- 5 完了メッセージが表示されたら「OK」(\square)を押す

- 選択したテキストメモと、その次にあるテキストメモの区間をコピーします。選択したテキストメモのあとにテキストメモがない場合は、テキストメモの位置からクリップの最後までをコピーします。
- コピー中は、コピーの進捗状況とキャンセルの表示を行います。コピーを途中で中断する場合は、 \square を押します。「YES/NO」の確認画面が表示されるので \square と \square で「YES」を選択してください。

サムネール画像の置き換え

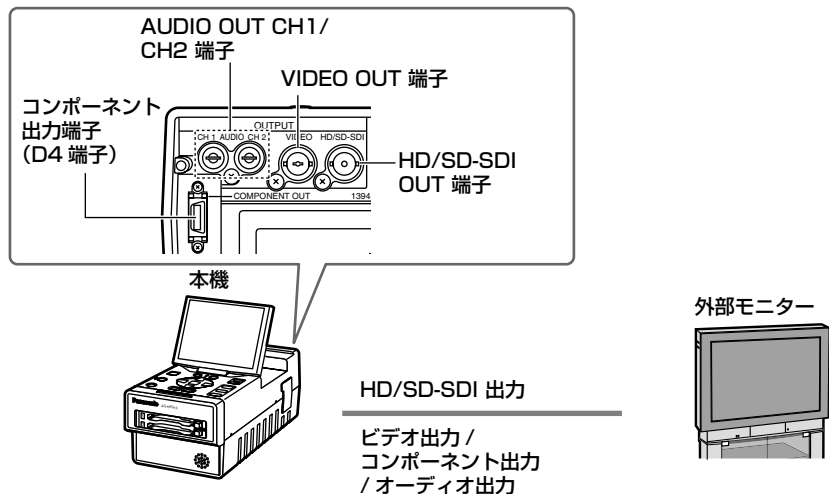
液晶モニター上段にあるテキストメモが付加されたクリップのサムネール表示画像を、下段にあるタイムスタンプが付いた静止画像と置き換えることができます。

- 1 「テキストメモ位置からの再生」の1～4の操作を行う
- 2 \square または \square で、カーソルをサムネール表示するタイムスタンプ番号が付いた静止画像にあわせ、[MENU/MODE CHK] を押す
- 3 \square 、 \triangle 、 \square で「OPERATION」 – 「EXCH. THUMBNAIL」を選んで \square を押す
- 4 「YES」を選んで \square を押す
サムネール表示が選択した静止画像と置き換わります。

- クリップの情報表示の「THUMBNAIL」項目(→39ページ)でサムネールの変更位置(先頭からのフレーム数)を見ることができます。通常の前フレームのサムネールの場合は0と表示されます。
- サムネールを変更してもサムネールからの再生はクリップの先頭からとなります。

外部モニターに出力して再生する

本機の出力端子と接続して外部モニターに出力して再生することができます。



出力設定をする

- 1 [POWER] を 2 秒以上押しして電源を ON にする
- 2 [THUMBNAIL/MODE] を押す
サムネール表示オフ画面が表示されます。
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 ▽、△で「AV OUT SETUP」の設定する項目を選んで□を押す
- 5 ▽、△で設定値を選んで□を押す
- 6 [MENU/MODE CHK] を押しして処理を終了する

PC モード (→ 21 ページ) に切り替わっているときは、ヘッドホン端子以外の端子からは出力されません。

記録 / 再生時の音量調整

記録 / 再生中にサムネール表示オフ画面で、を押すとスピーカーや、ヘッドホン端子からの音量を調整することができます。

CMPNT/SDI SEL : D 端子出力および HD/SD-SDI 出力のフォーマットを設定します。	
(SYSTEM FREQ を 59.94 Hz に設定時)	AUTO 「RECORDING SETUP」画面の「SYS FORMAT」項目 (→ 76 ページ) の設定に従います。
	1080i 720P を 1080i にクロスコンバートして出力
	480i 480i を出力、720P/1080i はダウンコンバートして出力
(SYSTEM FREQ を 50 Hz に設定時)	AUTO 「RECORDING SETUP」画面の「SYS FORMAT」項目 (→ 76 ページ) の設定に従います。
	1080i 720P を 1080i にクロスコンバートして出力
	576i 576i を出力、720P/1080i はダウンコンバートして出力
SDI OUT	<u>ON</u> SDI 出力をする
	OFF SDI 出力をしない
SDI METADATA	<u>ON</u> HD-SDI にメタデータを重畳します。
	OFF HD-SDI にメタデータを重畳しません。
SDI EDH	<u>ON</u> SD-SDI に EDH を重畳します。
	OFF SD-SDI に EDH を重畳しません。
SETUP	480i での再生時ビデオ出力信号のセットアップレベルを調整します。 • SYSTEM FREQ を 50 Hz に設定時はメニューに項目が表示されません。
	<u>0%</u> ビデオ出力信号のセットアップレベルが 0 % になります。
	7.5%A ビデオ出力信号のセットアップレベルが 7.5 % になります。
	コンポーネント出力 (D 端子)、SDI 出力および、1394 入力記録のセットアップレベルは、0 % になります。
	_____ は工場出荷モードです。

HD/SD-SDI 出力は以下の規格に準拠しています。

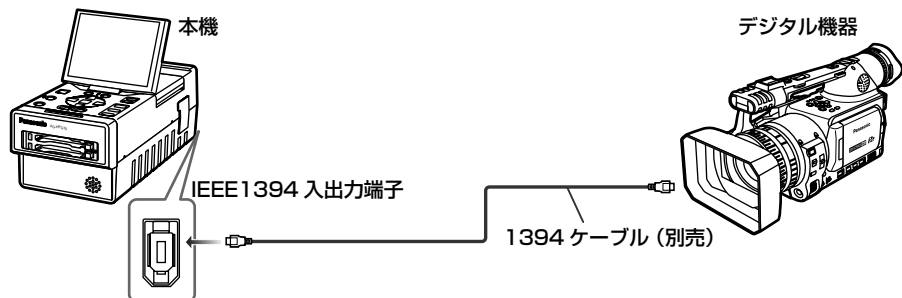
HD : SMPTE292M / 296M / 299M 準拠

SD : SMPTE259M-C / 272M-A、ITU-R BT.656-4 準拠

P2 カードに記録する

1394 入力記録

1394 端子が搭載されているデジタルビデオ機器を接続して、映像信号や音声信号、また、タイムコードなどを、デジタルで本機に記録することができます。

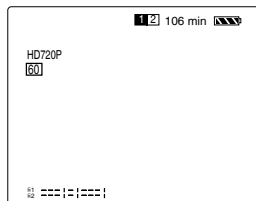


1 [POWER] を 2 秒以上押して電源を ON にする

サムネール画面が表示されます。

2 [THUMBNAIL/MODE] を押す

サムネール表示オフ画面が表示されます。



3 [MENU/MODE CHK] を押す

4 \square 、 \triangle 、 \square で「RECORDING SETUP」－「SYS FORMAT」の設定値を選んで \square を押して、1394 入力映像のフォーマットと本機の記録フォーマットをあわせる

詳しくは、設定メニュー「RECORDING SETUP」画面（→ 76 ページ）を参照してください。

5 手順 4 と同様に \square と \square で「RECORDING SETUP」を選んだあと、タイムコード、ユーザーズビットなどの設定を行う

詳しくは、設定メニュー「RECORDING SETUP」画面（→ 76 ページ）を参照してください

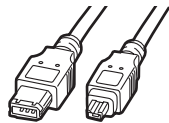
6 [REC]2 つを同時押しする

記録が開始されます。

- 停止するときは \square を押してください。
- 記録中に、[USER]（→ 78 ページ）に割り当てたショットマークやテキストメモの挿入ができます。
- IEEE1394 入出力端子に映像信号が入力されていないと記録が行われません。

-
- システムフォーマットが、720P/30PN、720P/24PN、720P/25PN に設定されているときは、1394 入力記録はできません。
 - PC モード（→ 21 ページ）に切り替わっているときは、1394 入力記録はできません。
 - 外部機器制御機能のあるカメラレコーダーと 1394 端子を使って接続した場合は、カメラレコーダー側の設定で、本機の記録開始、記録一時停止、停止の操作が可能です。詳しくは、カメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。
-

- 1394 ケーブルを接続するときや外すときは、必ず接続する機器の電源を切ってから行ってください。
- 6 ピンタイプの 1394 端子を使用している機器と接続する場合、1394 ケーブルと端子の形状をよく確認して接続してください。逆に接続すると、本機内部の部品が破損し、故障の原因となります。



6ピンタイプ 4ピンタイプ

- 外部機器からの信号を記録する場合、映像信号が入力されていることを確認してから記録を行ってください。
- 外部機器から信号を記録しているときは、外部機器側で出力を停止したり、ケーブルを抜かないでください。再度記録を行うときに認識できないことがあります。
- 外部機器から信号を記録しているときは、外部機器側で出力される信号のフォーマットを変更しないでください。正しい記録を行うことができません。
- 1394 端子に 1394 ケーブルを接続したときに、外部から強い負荷を加えないでください。端子が破損することがあります。
- DVD 機器での自動録画機能は正常に動作しないことがあります。その場合、手動で録画してください。

2 スロット連続記録

2つのP2 カードスロット両方にP2 カードを装着すれば、2枚のカードにわたって連続記録することができます。また、一方が記録中にもう片方のカードを差し替えて、3枚以上に連続記録することもできます（ホットスワップ記録）。ただし、空きスロットにP2 カードを挿入するタイミング（2つのスロットにわたって連続記録するときの前後）によって、P2 カードの認識が遅くなる場合があります。P2 カードを挿入する際は、記録対象カードの残量が1分以上ある状態で行うことを推奨します。

「SW MODE」画面の「USER」項目（→78 ページ）で「USER」に「SLOT SEL」を割り当てると、ワンタッチで記録対象スロットを変更できます。

- スロットの変更は記録中にはできませんので、記録待機中に行ってください。
- ホットスワップ再生には対応していません。

ウェーブフォームモニター表示

記録中の画面に簡易波形モニターを表示し、収録中の映像監視などが行えます。

設定メニュー「DISPLAY SETUP」画面の「WFM」項目を設定すると表示できます。

- 「SW MODE」画面の「USER」項目（→78 ページ）で「USER」に「WFM」を割り当てると、押すたびに「WAVE」→「VECTOR」→「OFF」→「WAVE」と切り替わります。
- クリップの再生時と 1394 入力信号が入力されているときに表示します。
- USB HOST モードでの再生時には表示しません。

タイムコード表示

タイムコード表示部の表示内容を変更することができます。（→66 ページ）

1 [COUNTER] を押す

押すごとに、下記のデータに切り替わります。

TC :	タイムコード表示
UB :	ユーザズビット値
COUNTER :	カウンター表示（1394 入力記録時のみ表示）
FR :	フレームレート情報
無表示 :	データを表示しません

カウンター値をリセットする

サムネールオフ表示画面でカウンター値を表示中に「RESET/TC SET」を押します。

P2 カードに記録する (つづき)

1394TC プリセットモード

マルチカメラで撮影するときに、TC の初期値を同期させることができます。
記録、再生中は、プリセットができません。停止状態で操作してください。

- 2 台の機器を 1394 ケーブルで接続し、電源を入れます
- カメラレコーダー側を、1394 端子から映像信号が出力される状態にします
 - カメラレコーダーと本機の記録フォーマットをあわせてください。
以下はすべて本機の操作です。
 - 設定メニューの基本操作 (→ 74 ページ)
- 設定メニュー「RECORDING SETUP」画面の「1394 TC REGEN」項目を「OFF」にしてカウンターを TCG 表示にします
 - REGEN 設定では行えません。
- 「RECORDING SETUP」画面の「1394 IN PRESET」項目で、「ON」を選択します
 - 画面に「1394 TC」と表示されます。(→ 71 ページ)
- 「RESET/TC SET」を押します。1394 から入力されている TC 値に TCG 値がプリセットされます
 - 画面中央に「TC SET OK」と約 2 秒間表示されます。

タイムコードを設定する


設定メニュー「RECORDING SETUP」画面の下記の項目で、タイムコードにかかわる各種の設定を行います。(→ 76 ページ)

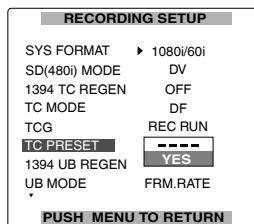
- 「1394 TC REGEN」項目
- 「TC MODE」項目
- 「TCG」項目
- 「TC PRESET」項目



「1394 TC REGEN」項目が「ON」に設定されていると、上記に示す項目の設定を変更することができません。

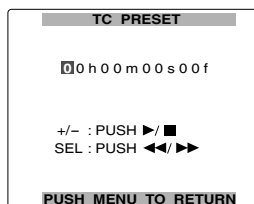
タイムコードを指定する (TC PRESET 項目)




任意の値を記録開始時のタイムコード値として記録する場合、TC PRESET 項目でタイムコード値を設定します。

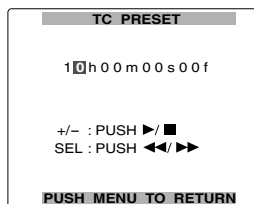
- 「POWER」を 2 秒以上押したままにして電源を ON にする
- 設定メニュー「RECORDING SETUP」画面の「1394 TC REGEN」項目で「OFF」を選択する
 - 設定メニューの基本操作 (→ 74 ページ)
- 「RECORDING SETUP」画面の「TC PRESET」項目で「YES」を選んで  を押す



- 下記の画面が表示されたらタイムコード値を設定する。
 - 、 でタイムコード値を選択します。



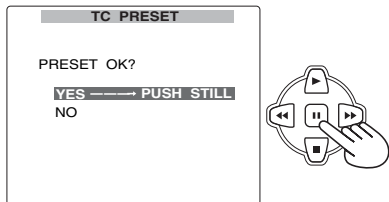
-  で次のけたに移動し、再度 、 でタイムコード値を選択します。



タイムコードを設定しているときに「RESET/TC SET」を押すと、タイムコード値をゼロにリセットします。

5 タイムコード値の設定が完了したら [MENU/ MODE CHK] を押す。

6 △で「YES」に移動し、□を押す



7 [MENU/MODE CHK] を 2 度押して、メニューを終了する

ユーザーズビットを設定する

ユーザーズビットを設定することにより、16 進数 8 けたまでのメモ（日付、時刻）などの情報をサブコードトラックに記録できます。ユーザーズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切ったあとも保持されます。

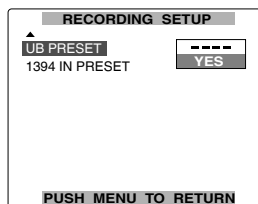
1 [POWER] を 2 秒以上押したままにして電源を ON にする

2 設定メニュー「RECORDING SETUP」画面の「1394 UB REGEN」項目を「OFF」にする

- ・設定メニューの基本操作（→ 74 ページ）

3 「RECORDING SETUP」画面の「UB MODE」項目で「USER」を選択する

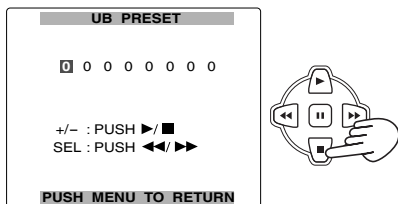
4 「RECORDING SETUP」画面の「UB PRESET」項目で「YES」を選んで□を押す



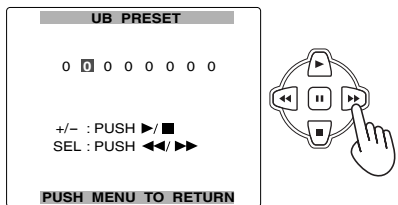
5 ユーザーズビットを設定する

▽、△でユーザーズビットの文字を選択します。

- ・設定できるユーザーズビットの文字は、数字の 0～9 とアルファベットの A～F です。



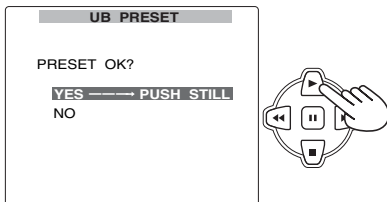
▷で次のけたに移動し、再度▽、△で文字を選択します。



ユーザーズビットを設定しているときに [RESET/ TC SET] を押すと、ユーザーズビットをゼロにリセットします。

6 ユーザーズビットの設定が完了したら [MENU/MODE CHK] を押す。

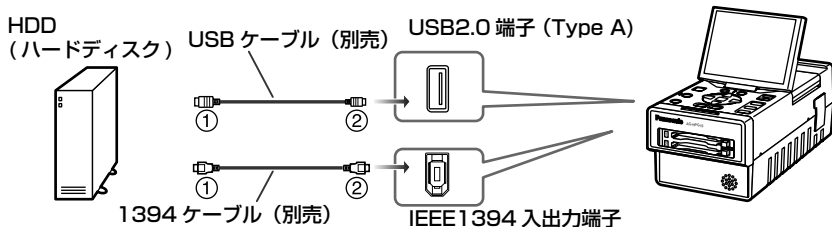
7 △で「YES」に移動し、□を押す



8 [MENU/MODE CHK] を 2 度押して、メニューを終了する

P2 カードから HDD にコピーする

USB2.0 または 1394 端子が搭載されている HDD(ハードディスク) を接続して、P2 カードのデータを HDD にコピーすることができます。



USB 接続を行う場合は次の条件が必要です。

- 本機は、USB2.0 にのみ対応しています。USB2.0 対応の HDD をご使用ください。
- HDD は 1 台のみ接続してください。
- 本機と HDD の間にハブ等、他の機器が接続されていると操作できません。また、USB ケーブルの長さは 3m 以内のケーブルをご使用することをおすすめします。

1394 接続を行う場合は次の条件が必要です。

- 1394.a (SBP2 プロトコル) に対応
- HDD は 1 台のみ接続してください。
- 本機と HDD の間にハブ等、他の機器が接続されていると操作できません。

• HDD は以下の条件でご使用ください。

- 1) HDD を本機用にフォーマットしてもよい。
 - 2) HDD の動作保証範囲内 (温度など) で使用する。
 - 3) HDD を振動する場所や不安定な場所に置かない。
- 2 TB 以上のハードディスクには対応していません。
 - HDD によっては正しく動作しない場合があります。
 - USB 変換ケーブルを介して接続された、SATA(シリアル ATA) や PATA(パラレル ATA) インターフェースのハードディスクは、認識できない場合があります。
 - フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、P2 カードを取り出したり、本機や HDD の電源を切ったりしないでください。電源の再起動が必要になります。
 - HDD は非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。
HDD の故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
 - 本機からのコピーに使用している HDD を他のパソコンなどで置き替えた場合、以後の本機での動作、および HDD のデータは保証できません。
 - 不良クリップ※が含まれる P2 カードは事前に、修復してから本機でコピーすることを推奨します。
※記録中に P2 カードを抜いたり、電源が切れた場合にできる、記録不具合のクリップで、サムネール画面を表示したときに マークなどが付いているクリップです。
 - 弊社が下記の URL で無償配布しているドライブマウントコンバーターを使用するとハードディスクを Windows PC に接続したとき、指定したフォルダーへマウントすることができます。すでに割り当てられているネットワークとドライブが重なって見えないパーティションがある場合、ご利用ください。
<http://panasonic.biz/sav/>

P2 カードから HDD にコピーする (USB HOST モード)

USB HOST モードに切り替える

- 1 [POWER] を 2 秒以上押して電源を ON にする
サムネール表示画面になります。
- 2 [THUMBNAIL/MODE] を押してサムネール表示オフ画面にする
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 上、下、右で「OTHER FUNCTIONS」 - 「PC MODE」を選んで右を押す
- 5 上、下で「USB HOST」を選んで右を押す
- 6 [MENU/MODE CHK] を 2 回押してサムネール表示オフ画面にする

- 7 [THUMBNAIL/MODE] を 2 秒以上押したままにする

USB HOST モードになり、サムネール画面下部に「USB HOST」と表示されます。



- コピーに十分な容量の HDD をご使用ください。
- HDD 内のクリップは再生できません。
- USB HOST モードでは、1394 入力記録はできません。
- USB HOST モードでは、ヘッドホン端子以外の端子からは出力されません。

HOST モードを終了するには

- 1 [POWER] を 2 秒以上押したままにして本機の電源を OFF にする

[THUMBNAIL/MODE] を押したままにしても PC モードは解除できません。

使用できる HDD

次の HDD を使用できます。

- パナソニックポータブルハードディスクユニット P2 store (AJ-PCS060G)
- USB2.0 で接続できる HDD

- USB バスパワー (5V、0.5A) にも対応していますが、HDD によっては起動できないものもあります。その場合は HDD に別途電力を供給してください。
- HDD によっては正しく動作しない場合があります。
- USB メモリーなどのリムーバブルメディアは、使用しないでください。

P2 カードから HDD にコピーする (USB HOST モード) (つづき)

HDD のタイプと利用できる機能について

使用する HDD により、利用できる機能が異なります。HDD のタイプは本機の HOST モードでのエクスプローラー画面の左側に「PARTITION :」につづけて表示されます。

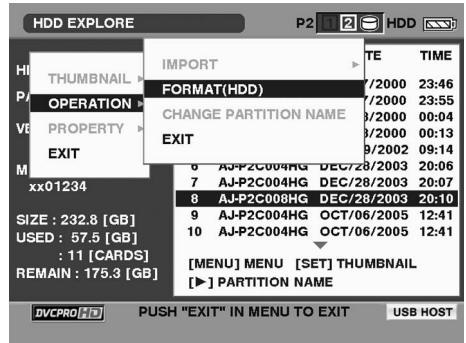
ハードディスクタイプ	特徴	利用できる機能
TYPE S	カード単位で高速に書き込み／読み込みするための特殊形式です。本機でフォーマットすると、この形式になります。	カード単位での書き込み／読み込み、サムネール表示、クリップ単位での読み込み、フォーマット
P2STORE	P2 store (AJ-PCS060G) のことです。書き込みはできません。	カード単位での読み込み、サムネール表示、クリップ単位での読み込み
FAT	パソコンなどで先頭の基本パーティションが FAT16 または FAT32 になっており、そのパーティションのルートに「CONTENTS」フォルダーが必要です。	サムネール表示、クリップ単位での読み込み、フォーマット ※本機でフォーマットしたあとは、「TYPE S」の HDD として扱えます。
OTHER	上記以外の HDD です。 ※ルートに「CONTENTS」フォルダーがない場合や NTFS などの FAT16、FAT32 以外のファイルシステムの場合です。	フォーマット ※本機でフォーマットしたあとは、「TYPE S」の HDD として扱えます。

HDD のフォーマット

HDD を TYPE S で使用できる形式に初期化します。

• HDD のフォーマットを行うと、HDD の内容はすべて消去されますので注意してください。

- 1 USB HOST モードに切り替える
- 2 USB HDD を接続する
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 \leftarrow 、 \rightarrow 、 \uparrow 、 \downarrow で [HDD] - [EXPLORE] を選んで \square を押す
エクスプローラー画面が開きます。
- 5 [MENU/MODE CHK] を押して、 \leftarrow 、 \rightarrow 、 \uparrow 、 \downarrow 、 \square で [OPERATION] - [FORMAT(HDD)] を選んで \square を押す
- 6 [YES] を選んで \square を押す
- 7 再度確認メッセージが出たら、[YES] を選んで \square を押す
HDD がフォーマットされます。
- 8 完了メッセージが表示されたら [OK] (\square) を押す



P2 カードから HDD にコピーする (USB HOST モード) (つづき)

カード単位での HDD へのエクスポート

TYPE S の HDD の場合、P2 カード単位で HDD へエクスポート (P2 カードから HDD への書き出し) を行うことができます。HDD は事前にも本機でフォーマットを行ってください。最大 23 枚のカードを HDD へ保存することができます。エクスポートしたデータは、コンピューターなどではエクスポートした P2 カードごとにも別々のドライブとして認識されます。

1 USB HOST モードに切り替える

2 USB HDD を接続する

HDD を本機でフォーマットしていないときは、HDD をフォーマットします。「HDD のフォーマット」(→ 57 ページ) を参照してください。

3 P2 カードを挿入する

4 [MENU/MODE CHK] を押す

5 ▢、△、□ で「HDD」-「EXPORT」を選んで ▢ を押す

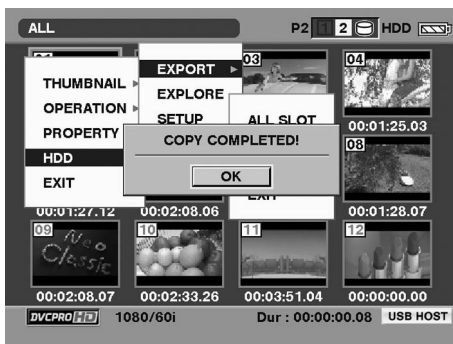


6 コピー元の P2 カードスロット番号を選んで ▢ を押す

7 「YES」を選んで ▢ を押す

- エクスポート中は進捗バーが表示されます。
- エクスポートを中断したいときは、□ を押し、「CANCEL」の確認表示で「YES」にカーソルをあわせ、▢ を押すと中断できます。
- エクスポート時のベリファイを行わないように設定すると、エクスポート完了までの時間が短くなります。設定はメニューの「HDD」-「SETUP」-「VERIFY」を「OFF」にします。
- ベリファイ中に処理を中断しても、P2 カードのコピーは終了しています。

エクスポートを完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。



HDD の情報表示

HDD の情報を表示できます。

- 1 USB HOST モードに切り替える
- 2 USB HDD を接続する
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 、、 で「HDD」 - 「EXPLORE」を選んでを押す
HDD の情報が表示されます。

TYPE S または、P2STORE の場合

7

HDD EXPLORE P2 HDD

HDD	NO.	MODEL	DATE	TIME
1 PARTITION : TYPE S	1	AJ-P2C008HG	JAN/17/2000	23:46
2 VENDOR : Panasonic	2	AJ-P2C004HG	JAN/17/2000	23:55
3 MODEL : xx01234	3	AJ-P2C008HG	JAN/18/2000	00:04
4 SIZE : 232.8 [GB]	4	AJ-P2C008HG	JAN/18/2000	00:13
5 USED : 57.5 [GB]	5	AJ-P2C008HG	MAR/19/2002	09:14
6 REMAIN : 175.3 [GB]	6	AJ-P2C004HG	DEC/28/2003	20:06
	7	AJ-P2C004HG	DEC/28/2003	20:07
	8	AJ-P2C008HG	DEC/28/2003	20:10
	9	AJ-P2C004HG	OCT/06/2005	12:41
	10	AJ-P2C004HG	OCT/06/2005	12:41

[MENU] MENU [SET] THUMBNAIL
[>] PARTITION NAME

DVCPRO PUSH "EXIT" IN MENU TO EXIT USB HOST

1. PARTITION	HDD の種類
2. VENDER	ベンダー名
3. MODEL	HDD のモデル名
4. SIZE	HDD の総容量
5. USED	HDD の使用量 (単位 : GB) と使用 P2 カード領域 (単位 : 枚)
6. REMAIN	HDD の残量 (単位 : GB)
7. パーティション番号	HDD 内のパーティション (P2 カード一枚分の単位) 番号

- とで日時などの一覧表示とユーザーが付けたパーティションの名称表示を切り替えることができます。
- HDD のサムネール表示中に、[MENU/MODE CHK] を押して、「OPERATION」 - 「CHANGE PARTITION NAME」を選択すると、そのパーティションに名前 (最大 20 文字) を付けることができます。

FAT の場合

HDD EXPLORE P2 HDD

HDD	NO.	MODEL	DATE	TIME
1 PARTITION : FAT	1	FAT32		

[MENU] MENU [SET] THUMBNAIL
[>] PARTITION NAME

DVCPRO PUSH "EXIT" IN MENU TO EXIT USB HOST

P2 カードから HDD にコピーする (USB HOST モード) (つづき)

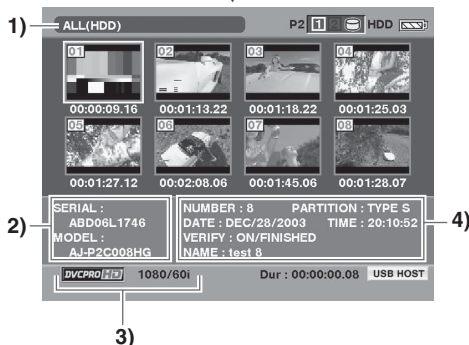
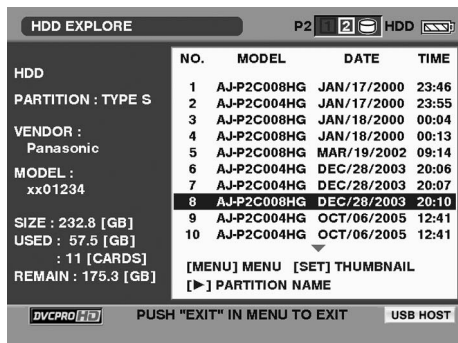
HDD のクリップのサムネール表示

HDD に保存したクリップも、本機に装着した P2 カードと同様にサムネール表示して管理できます。

1 エクスプローラー画面を表示する

2 、で表示したいパーティションを選んで を押す

そのパーティションのクリップがサムネール表示されます。



1) 表示状態

HDD のクリップのサムネール表示状態を示します。

2) パーティション情報

次の情報が表示されます。

SERIAL : P2 カードのシリアル番号

MODEL : P2 カードのモデル名

3) 記録モード、システムフォーマット

カーソル位置クリップの記録モード、システムフォーマットが表示されます。

4) ディスク情報

NUMBER (NO.) :	パーティション番号 (1 ~)
DATE/ TIME :	パーティション記録日時
VERIFY :	記録時のペリファイの設定とペリファイ結果
	ON ベリファイ実施し、 FINISHED: 一致
	ON ベリファイ実施し FAILED: たが不一致
	OFF: ベリファイしてい ない
	※ P2 store のときは「-」 と表示します。
NAME :	パーティション名

- メニュー表示させて「EXIT」を選択すると、エクスプローラー画面に戻ります。
- 必要に応じてサムネール画面の表示の変更を行うことができます。操作はカードのサムネール表示と同じです。「サムネール表示画面の表示の変更」(→ 33 ページ)を参照してください。
- 「FAT」タイプの HDD であっても、1001 個目以降のクリップは表示されません。

クリップの情報を表示する


HDD に保存したクリップの各種メタ情報を表示できます。内容は P2 カードのクリップのプロパティと同じです。

1 HDD のサムネール画面で、対象のクリップを選択する

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。

2 [MENU/MODE CHK] を押す

3 、、で「PROPERTY」-「CLIP

PROPERTY」を選んで  を押す

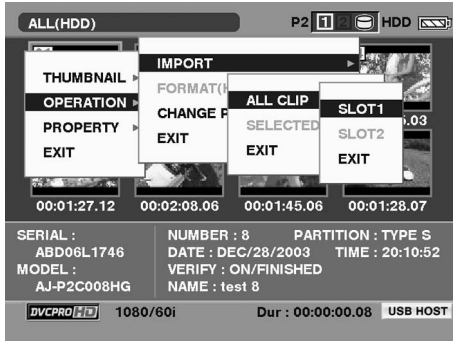
詳細は「クリップ情報を表示する」(→ 38 ページ)を参照してください。

HDD から P2 カードへのインポート

TYPE S の HDD や P2 store からパーティション単位でインポートする

パーティション単位（カード単位）で、元のカードと同サイズの P2 カードへ高速にインポート（ハードディスクから P2 カードへの読み込み）することができます。

- 1 インポート先となる P2 カードを挿入する
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 **[F1]**、**[F2]**、**[F3]** で「HDD」 - 「EXPLORE」を選んで**[F4]**を押す
- 4 **[F1]**、**[F2]** でコピー元のパーティションを選んで**[F4]**を押す
- 5 [MENU/MODE CHK] を押す
- 6 **[F1]**、**[F2]**、**[F3]** で「OPERATION」 - 「IMPORT」 - 「ALL CLIP」を選んで**[F4]**を押す



- 7 フォーマット済の P2 カードを挿入したインポート先の P2 カードスロット番号にカーソルをあわせ、**[F4]**を押す
- 8 「YES」を選んで**[F4]**を押す

インポートが始まります。
インポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

- 元の P2 カードとは異なる P2 カードにインポートしたとき、クリップによっては不完全（**[F1]** インジケータ付き）クリップになることがあります。この場合、連結機能を使ってクリップを再構成してください。「不完全クリップの連結」（→ 36 ページ）を参照してください。
- メニュー設定により、コピー時にベリファイを行うかどうかを切り替えることができます。

クリップ単位で P2 カードへのインポート

HDD のクリップを指定して、P2 カードにインポートできます。

- 1 インポート先となる P2 カードを挿入する
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 **[F1]**、**[F2]**、**[F3]** で「HDD」 - 「EXPLORE」を選んで**[F4]**を押す
- 4 **[F1]**、**[F2]** でコピー元のパーティションを選んで**[F4]**を押す
- 5 コピーするクリップを選択する
- 6 [MENU/MODE CHK] を押す
- 7 **[F1]**、**[F2]**、**[F3]** で「OPERATION」 - 「IMPORT」 - 「SELECTED CLIPS」を選んで**[F4]**を押す
- 8 **[F1]**、**[F2]** でインポートする P2 カードスロット番号を選んで**[F4]**を押す
- 9 「YES」を選んで**[F4]**を押す

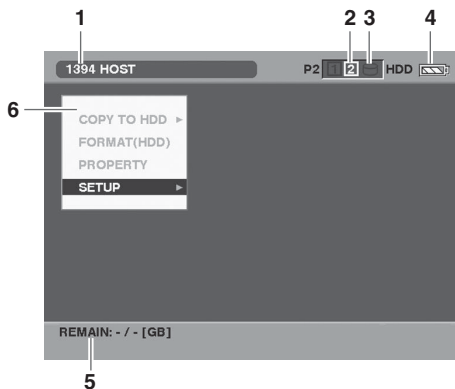
インポートが始まります。インポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

- クリップ単位でインポートするときは、ベリファイは行われません。
- 「クリップ単位でのインポート」動作は、「クリップのコピー」と類似の動作です。クリップ単位でのインポート時の注意事項は「クリップをコピーする」（→ 37 ページ）を参照してください。

P2 カードから HDD にコピーする (1394 HOST モード)

1394 HOST モードに切り替える

- 1 接続する HDD (1394.a SBP2 対応) の電源を入れ、IEEE1394 ケーブルで接続したあと、本機の [POWER] を 2 秒以上押して電源 ON にする。
サムネール表示画面になります。
- 2 [THUMBNAIL/MODE] を押してサムネール表示オフ画面にする
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 で [OTHER FUNCTIONS] - 「PC MODE」を選んで を押す
- 5 で 「1394 HOST」を選んで を押す
- 6 [MENU/MODE CHK] を 2 回押してサムネール表示オフ画面にする
- 7 [THUMBNAIL/MODE] を 2 秒以上押し続けたままにする
1394 HOST モード画面が表示されます。

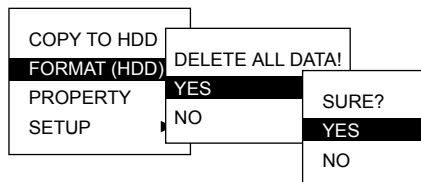


1. モード表示	1394 HOST モードを表示
2. P2 カードスロット番号	P2 カードが挿入されている P2 カードスロット番号が白色で表示されます。
3. HDD 状態表示	接続中で使用可能な状態の場合は、白色、接続されていない場合は、黒色、フォーマットの状態などでコピーできない場合は赤色で表示をします。赤色で表示された HDD にコピーする場合は、HDD のフォーマットを行ってください。
4. バッテリー残量	バッテリーの残量を表示します。
5. HDD 残量表示	HDD の残量と総容量を表示します。HDD が未接続の場合は、「-/」を表示します。
6. メニュー表示	1394 HOST モードで使用するメニューを表示します。

- 本機と 1 台の HDD を 1394 ケーブルで接続してください。電源が入っていない HDD であっても、複数台の接続 (チェーン、ハブなど) は行わないでください。

HDD のフォーマット

- 1 で 「FORMAT(HDD)」を選んで を押す。

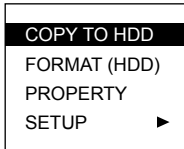


- 2 「YES」を選んで を押す
- 3 再度確認メッセージが出たら、「YES」を選んで を押す
フォーマットが開始されます。(フォーマットは約 2～3 秒程度で終了します。)
 - HDD 内のすべてのデータは消去されますので、ご注意ください。

P2 カードから HDD ヘコピーする

- コピーに十分な容量の HDD (ハードディスク) をご使用ください。
- 本機のバッテリー残量が十分あることを確認後に行ってください。

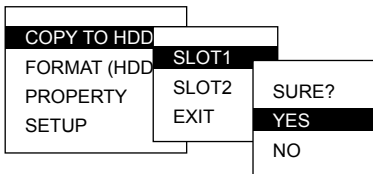
1 コピー元の P2 カードを本機の P2 カードスロットに挿入したあと、**[F2]**、**[F3]**で「COPY TO HDD」を選んで**[F4]**を押す。



- HDD へのコピーはカード単位で行われます。

2 **[F2]**、**[F3]**でカードスロットを選んで**[F4]**を押す。

- そのあと、**[F3]**で「YES」を選んで**[F4]**を押してください。コピーが始まります。
- コピーを中断するときは**[F4]**を押してください。確認の画面が表示されたら「YES」を選んで**[F4]**を押してください。
 - 最大 15 枚のカードを HDD へ保存することができます。



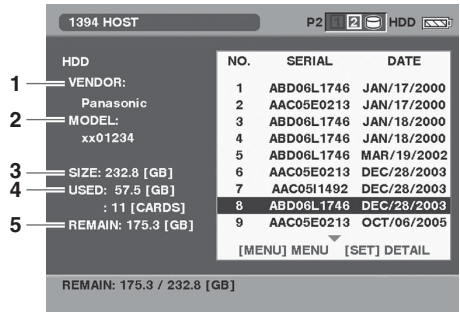
HDD へのコピー時にベリファイ (データ検査) を行うには

- 1394 HOST モードに切り替えたあと、**[F2]**、**[F3]**、**[F4]**で「SETUP」-「VERIFY」-「ON」を選んで**[F4]**を押す。
- ベリファイ中に処理を中断しても、P2 カードのコピーは終了しています。

HDD の状態表示

接続している HDD の状態を表示できます。

1 **[F2]**、**[F3]**で「PROPERTY」を選んで**[F4]**を押す。



1. VENDER	ベンダー名
2. MODEL	HDD のモデル名
3. SIZE	HDD の総容量
4. USED	HDD の使用量 (単位: GB) と使用 P2 カード領域 (単位: 枚)
5. REMAIN	HDD の残量 (単位: GB)

2 **[F2]**、**[F3]**でパーティションを選んで**[F4]**を押す

パーティションの詳細情報が表示されます。

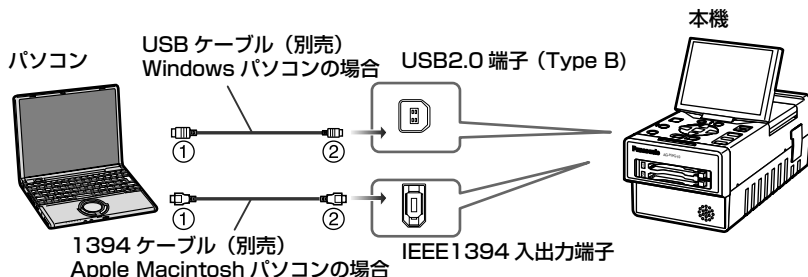
3 **[MENU/MODE CHK]** を押しで終了する。

- HDD から P2 カードへのコピーはできません。
- 1394 バス以外から電力を供給してください。(本機からは供給されません)
- HDD (1394.a SBP2 対応) を接続せずに 1394 HOST モードに入り、それから HDD を接続した場合は動作保証されません。いったん電源を切り、1394 HOST モードを解除してください。
- 1394 HOST モードでは、パーティション内のクリップはサムネール表示されません。
- 1394 HOST モードでは、外部モニターへの出力はできません。

外部機器で編集する

P2 カードのデータを編集する (USB DEVICE モード / 1394 DEVICE モード)

本機とパソコンを USB ケーブル (Windows)、または 1394 ケーブル (Apple Macintosh) で接続して、本機の P2 カード内の映像データをパソコンから操作することができます。



USB DEVICE モードで編集する

USB 接続を行う場合は次の条件が必要です。

- Windows2000 または WindowsXP を搭載
- USB 接続をはじめて行うときは、本機に付属の CD-ROM から、P2 ソフトウェアをパソコンにインストールしてください。
- 本機は、USB2.0 にのみ対応しています。USB2.0 対応のパソコンをご使用ください。
- パソコンは 1 台のみ接続してください。
- 本機とパソコンの間にハブ等、他の機器が接続されていると操作できません。また、USB ケーブルの長さは 3 m 以内のケーブルをご使用することをおすすめします。
- Macintosh での動作は保障していません。

1 [POWER] を 2 秒以上押して電源を ON にする

サムネール表示画面になります。

2 [THUMBNAIL/MODE] を押してサムネール表示オフ画面にする

3 [MENU/MODE CHK] を押す

4 \square 、 \triangle 、 \square で「OTHER FUNCTIONS」 - 「PC MODE」を選んで \square を押す

5 \square 、 \triangle で「USB DEVICE」を選んで \square を押す

6 [MENU/MODE CHK] を 2 回押してサムネール表示オフ画面にする

7 [THUMBNAIL/MODE] を 2 秒以上押したままにする

「USB DEVICE」の表示のあと、ファイルアクセスが可能な状態になると「USB DEVICE CONNECT」と表示されます。

- USB DEVICE モード中は、モードの変更や、メニューの表示はできません。

- USB 接続中は、P2 カードを取り出さないでください

8 パソコンで P2 カードのデータを編集する

9 編集が終了したら、USB ケーブルを取り外す

液晶モニターの表示が、「USB DEVICE CONNECT」から「USB DEVICE DISCONNECT」に変わります。

- ケーブルを取り外すときは、パソコンで「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。

10 [POWER] を 2 秒以上押したままにして本機の電源を OFF にする

[THUMBNAIL/MODE] を押したままにしても PC モードは解除できません。

- USB 接続中は、P2 カードアクセス LED は、アクセス中以外は消灯します。
- USB DEVICE モードでは、外部モニターへの出力はできません。

1394 DEVICE モードで編集する

1394 接続を行う場合は次の条件が必要です。

- Apple MacOSX 10.2.7 以上を搭載
- 1394.a (SBP2 プロトコル) に対応
- Windows での動作は保障していません。
- パソコンは 1 台のみ接続してください。
- 本機とパソコンの間にハブ等、他の機器が接続されていると操作できません。

1 [POWER] を 2 秒以上押しして電源を ON にする

サムネール表示画面になります。

2 [THUMBNAIL/MODE] を押ししてサムネール表示オフ画面にする

3 [MENU/MODE CHK] を押す

4 ◁、△、▷ で「OTHER FUNCTIONS」 – 「PC MODE」を選んで◁を押す

5 ◁、△ で「1394 DEVICE」を選んで◁を押す

6 [MENU/MODE CHK] を 2 回押ししてサムネール表示オフ画面にする

7 [THUMBNAIL/MODE] を 2 秒以上押ししたままにする

「1394 DEVICE」の表示のあと、ファイルアクセスが可能な状態になると「1394 DEVICE CONNECT」と表示されます。

- 1394 DEVICE モード中は、モードの変更や、メニューの表示はできません。

8 パソコンで P2 カードのデータを編集する

9 編集が終了したら、1394 ケーブルを取り外す

液晶モニターの表示が、「1394 DEVICE CONNECT」から「1394 DEVICE DISCONNECT」に変わります。

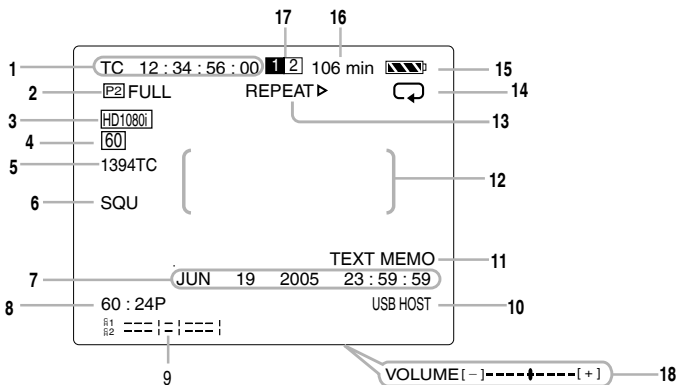
- すべてのドライブアイコンをゴミ箱に入れ
たあと、液晶モニターに「1394 DEVICE DISCONNECT」と表示されたことを確認してから 1394 ケーブルを取り外してください。

10 [POWER] を 2 秒以上押ししたままにして本機の電源を OFF にする

[THUMBNAIL/MODE] を押ししたままにしても PC モードは解除できません。

- 1394 接続中は、P2 カードを取り出さないでください。
- P2 カードを入れ替える場合は、ドライブアイコンをゴミ箱に入れてから行ってください

- 1394 DEVICE モードでは、外部モニターへの出力はできません。



1 タイムコード表示

[COUNTER] を押すごとに、下記のデータ（または表示なし）に切り替わります。
記録フォーマットを 720P/30PN、720P/24PN、720P/25PN に設定している場合は、1394 入力記録待機モード時にタイムコード表示がされません。

COUNTER: (記録待機中、記録中のみ)

カウンター値

TC:

タイムコード値

タイムコード値が P2 カードから正しく読み取れなかったときには、[TC *] を表示します。

UB:

ユーザーズビット値

ユーザーズビット値が P2 カードから正しく読み取れなかったときには、[UB *] を表示します。

FR:

AG-HVX200 などのカメラレコーダーで撮影されたフレームレート情報

FR 60i : 60i インタレースモード
(60 フィールド / 秒)

FR 60P : 60P プログレッシブモード
(60 フレーム / 秒)

FR 30P : 30P プログレッシブモード
(30 フレーム / 秒)

FR 24P : 24P プログレッシブモード
(24 フレーム / 秒)

FR 24PA : 24P アドバンスモード
(24 フレーム / 秒)

FR 50i : 50i インタレースモード
(50 フィールド / 秒)

FR 50P : 50P プログレッシブモード
(50 フレーム / 秒)

FR 25P : 25P プログレッシブモード
(25 フレーム / 秒)

FR — : 情報なし

表示なし

2 ワーニング情報

:

P2 カードが挿入されていないときや記録禁止のときに点滅します。

FULL :

P2 カードの残量がないときに点滅します。

:

バッテリー残量がないときに点滅します。

:

カレンダー用の内蔵電池が消耗しているときに点滅します。(→ 27 ページ)

3 システムフォーマット表示

HD1080i:

1080i DVCPRO HD フォーマット記録再生

HD720P:

720P DVCPRO HD フォーマット記録再生

HD720P30PN:

720P 30PN ネイティブ再生
(59.94 Hz 設定時のみ) 記録不可

HD720P24PN:

720P 24PN ネイティブ再生
(59.94 Hz 設定時のみ) 記録不可

HD720P25PN:

720P 25PN ネイティブ再生
(50 Hz 設定時のみ) 記録不可

50M:

480i、576i の DVCPRO50 フォーマット
記録再生

25M:

480i、576i の DVCPRO25 フォーマット
記録再生

DV:

480i、576i の DV フォーマット記録再生

4 システム周波数表示**60:**

59.94 Hz

50:

50 Hz

5 1394TC 表示

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の
1394 IN PRESET 項目が ON のときに表示
されます。

6 スクイーズ記録表示

480i/576i でスクイーズ記録された映像を
1394 入力したときや、再生したときに表示
します。

7 日付と時刻表示

mmm, dd, yyyy, hh:mm:ss で表示 (月日
年時分秒)

- AG-HVX200 などのカメラレコーダーと
1394 ケーブルで接続したときは、カメラレ
コーダー側で設定されている日付と時刻を表
示します。

8 再生フレームレート表示**24P、24PA、60P、30P、50P、25P**

- AG-HVX200 などで撮影されたネイティブ
記録のクリップを再生する場合は「バリア
ブルレート：記録レート」の表示になります。
例) 12：24P

12P (ネイティブ記録ではない、バリア
ブルレート記録の場合)

- 60i、50i のコンテンツ再生時は表示しません。

9 オーディオレベルメーター表示

AUDIO OUT 出力 (ピンジャック) CH1、
CH2 に出力されているレベルを表示します。

10 USB HOST 表示

USB HOST モード時に表示をします。

11 テキストメモ、ショットマーク表示

あらかじめショットマークまたはテキストメモ
を割り付けた [USER] を押してショットマ
ークまたはテキストメモを記録するときに約 3
秒間表示します。

MARK ON : ショットマークを付加したとき

MARK OFF : ショットマークを削除したとき

TEXT MEMO : テキストメモを付加したとき

INVALID : ショットマークやテキストメモの
付加や削除ができないとき

12 情報表示

状況に応じて下記の情報を表示します。

- 警告表示、エラー表示
- [USER] でのモード切り替え表示 (V OUT
OSD、AUDIO OUT、SLOT SEL、SYS
FORMAT、SD MODE)
- [MENU/MODE CHK] を押している間、
[USER] に割り当てた機能を表示

13 動作状態表示

REC : 記録

PAUSE : 記録待機

⏏ : 再生一時停止

REPEAT ▷ : リピート再生

▷▷ (◀◀) :

早送り再生 (早戻し再生)

⏏▷ (◀⏏) :

コマ送り再生 (逆方向コマ送り再生)

x▷ /x▷▷ (x◀ /x◀◀) :

可変速再生 (逆方向可変速再生)

CLIP ⏏▷ (CLIP ◀⏏) :

クリップ送り (逆方向クリップ送り)

14 リピート再生設定表示


設定メニュー「PLAYBACK FUNCTIONS」
画面で「REPEAT PLAY」項目を「ON」にし
たときに表示されます。

15 バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれ、

◆  ◆  ◆  ◆ 

と変わります。

容量がなくなると、液晶モニターに「LOW
BATTERY」と表示されます。(AC アダプター
使用時に  以外が表示される場合があり
ますが、問題ありません)

(次ページへつづく)


画面の表示 (つづき)

16 メディア残量表示

設定メニューの「DISPLAY SETUP」画面の「P2 CARD REMAIN」項目を「ONE CARD」にすると記録対象のスロットの残量を表示します。[USER]に割り付けた「SLOT SEL」で切り替えることにより対象スロットを変更できます。「TOTAL」にすると2枚のカードの残量合計を表示します。

17 メディア情報表示

P2 カードが挿入されているカードスロット、および基本情報を表示します。

 **点灯**: 記録可能な P2 カード

 **緑色点灯**: 記録対象の P2 カード

 **点滅**: カード認識中

 **点滅しない**: カード未挿入


P: ライトプロテクトがかかっている



F: 残量なし

X: 認識不可

E: 不正なフォーマットの P2 カード (フォーマットすれば正常になる)

18 モニター音量レベルメーター

 を押し、スピーカーとヘッドホン端子から出力される音量が表示されます。

、 ボタンで音量を調節できます。

警告表示

LOW BATTERY

バッテリーの電源が消耗しているため操作できません。

INCOMPATIBLE CARD

規格が違うカードなので、使用することができません。

COPY INHIBITED

コピーガードされている入力信号なので、正しく記録することができません。

DIR ENTRY NG CARD

フォルダー配置不正カードです。この P2 カードを P2 機器に挿入したときや記録終了時に警告を表示します。

RUN DOWN CARD

P2 カードの使用寿命に到達しました。交換をおすすめします。警告が表示されても記録 / 再生はできます。ただし、この P2 カードを P2 機器に挿入したときや記録終了時に警告を表示します。

FORMAT ERR !

P2 規格に準拠していないカードです。

< サムネール画面 >

CANNOT ACCESS!

コンテンツ不良などによりデータへアクセスできません。メディア、クリップを正常な状態としてからご使用ください。

WRITE PROTECTED!

P2、SD カードがライトプロテクトされています。書き込み可能なメディアを挿入してください。

NO CARD!

P2、SD カードが入っていません。対応メディアを挿入してください。

CARD FULL!

P2、SD カードが一杯です。空き領域のあるメディアを挿入してください。

CANNOT DELETE !

コンテンツバージョンが不整合のため削除できません。機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。

CANNOT FORMAT!

P2 カードなどの問題でフォーマットができません。P2 カードを確認してください。

CANNOT REPAIR!

異常がないコンテンツを選んでいるなどで修復ができません。選択しているコンテンツを確認してください。

CANNOT RE-CONNECT!

またぎクリップではないコンテンツを選んでいるなどでクリップの再結合ができません。選択しているコンテンツを確認してください。

NO COPY TO SAME CARD!

コピー元とコピー先が同じカードのためコピーできません。選択しているクリップが入っていないカードへコピーをしてください。

TOO MANY CLIPS!

選択しているクリップが多すぎます。選択しているクリップ数を減らしてください。

LACK OF REC CAPACITY!

カードの記録容量が不足しています。記録容量の十分あるカードを挿入してください。

HDD CAPACITY FULL!

HDD の空き容量が足りません。接続先のターゲットの残容量が足りないため、新しいHDDまたはフォーマットした HDD を使用してください。

TOO MANY PARTITIONS!

パーティションが多すぎます。HDD の最大パーティション数は、USB HOST モード時は 23、1394 HOST モード時は 15 です。新しい HDD またはフォーマットした HDD を使用してください。

HDD DISCONNECTED!

HDD との接続が切断されました。USB を付け直してください。またその後正常に動作しないときは、一度電源を OFF にして、再び電源を ON にしてください。

TOO MANY TARGETS!

複数の機器が接続しています。接続を解除後、一度電源を OFF にして、再び電源を ON にしてください。

CANNOT ACCESS TARGET!

接続先のターゲットのアクセス中にエラーが発生しました。HDD の状態や接続を確認してください。

CANNOT ACCESS CARD!

P2 カードのアクセス中にエラーが発生しました。P2 カードを確認してください。

MISMATCH COMPONENT!

コピー元とコピー先の P2 カードの容量、形式が不一致のため、コピーできません。正しい容量の P2 カードを使用してください。

UNKNOWN DEVICE CONNECTED!

未対応の DVD ドライブなどが接続されています。接続を解除後、一度電源を OFF にして、再び電源を ON にしてください。

P2 CARD IS UNFORMATTED!

P2 カードが未フォーマットです。フォーマットされた P2 カードを使用してください。

CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!

コピーする P2 カードが空です。空のカードはコピーする必要がないためコピーを行いません。

VERIFICATION FAILED!

コピー後のベリファイで不一致が発見されました。再度コピーを行ってください。

TURN POWER OFF!

一度、電源を切ってからご使用ください。

CANNOT RECOGNIZE HDD!

接続先のターゲットが正しく認識できません。HDD の電源を入れ直すか、接続する HDD を変更してください。

PLEASE FORMAT P2 CARD!

HDD → P2 へのインポート時に、P2 カードが記録済のためコピーできない警告です。コピー先の P2 カードが空でないため、コピーできません。P2 機器でフォーマットしたあとに再度コピーを行ってください。

NO REPAIR CLIP !

修復するクリップが選択されていません。

MISSING CLIP !

またぎクリップがすべてそろっていないクリップにはショットマークは付加できません。またぎクリップが入ったカードをすべて挿入してください。

UNKNOWN CONTENTS FORMAT!

不明クリップインジケータが表示されたクリップやコンテンツバージョンが不整合のときの警告です。本機とコンテンツのバージョンをあわせてください。

画面の表示 (つづき)

エラー表示

本機や P2 カードなどに異常が発生した場合に表示します。一度電源を切っても直らない場合は、表示の内容に従ってカードを交換するか、もしくはお買い上げの販売店へご相談ください。

SYSTEM ERROR

システムに異常が発生したとき表示します。電源を入れ直してください。P2 MICON ERROR (P2 マイコン応答なし) P2 CONTROL ERROR (P2 制御異常)

TURN POWER OFF

カードをアクセス中に抜いて異常が発生したときに表示します。電源を入れ直してください。

REC WARNING

記録時に異常が生じたときに表示します。再度記録してください。それでも警告が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

CARD ERR (1) (2) (1/2)

(数字のスロットの P2 カード異常)

- 警告がつづく場合は電源を OFF にしてください。
- 再度記録しても警告が出る場合は、別のカードに取り替えてください。

REC RAM OVERFLOW

(記録 RAM のオーバーフロー)

CANNOT PLAY

再生時に異常が生じたときに表示します。

CARD ERR (1) (2) (1/2)

(数字のスロットの P2 カード異常)

ERROR (その他)

1394

1394 接続や信号に異常が発生したときに表示します。

1394 INITIAL ERROR (接続異常)

1394 端子の接続に異常があるか、信号が正しく入出力できていません。接続した HDD によってもエラーが表示されます。本機や相手機器の接続を確認してください。エラー表示が消えない場合は、電源を入れ直してください。

1394 INPUT ERROR (OTHER FORMAT)

(入力フォーマット違い)

1394 INPUT ERROR (入力異常)

画面表示内容の選択

液晶モニター画面に表示する下記の項目は、[MENU/MODE CHK] を押したままにしたときや、設定メニュー「DISPLAY SETUP」画面の「OTHER DISPLAY」項目（→ 80 ページ）の設定により表示します。

表示項目	MODE CHECK	OTHER DISPLAY 項目の設定		
		ALL	PARTIAL	OFF
1 タイムコード表示	○	—	—	—
2 ワーニング情報	—	—	—	—
3 システムフォーマット表示	○	○	○	×
4 システム周波数表示	○	○	○	×
5 1394TC 表示	○	○	×	×
6 スクイーズ記録表示	○	○	○	×
7 日時と時刻表示	○	—	—	—
8 再生フレームレート表示	○*	○	×	×
9 オーディオレベルメーター表示	○	—	—	—
10 USB HOST 表示	○	○	○	○
11 テキストメモ、ショットマーク 表示	—	—	—	—
12 情報表示	○	—	—	—
13 動作状態表示	○	○	○	○
14 リピート再生設定表示	○	○	○	×
15 バッテリー残量表示	○	—	—	—
16 メディア残量表示	○	—	—	—
17 メディア情報表示	○	—	—	—
18 モニター音量レベルメーター	—	—	—	—

○: 表示する

×: 表示しない

—: 他の設定により表示を行います。

MODE CHECK 欄の○は、[MENU/MODE CHK] を押したままにすると表示される項目を示しています。

※ FRAME RATE が 60i のときは表示されません。

記録再生と出力フォーマット一覧

システムフォーマット 59.94 Hz 設定時の場合

フォーマット 設定	記録状態		出力設定	出力状態				
SYS FORAMAT	1394 記録再 生フォーマット	記録再生 オーディオ CH	CMPNT/ SDI SEL	SDI OUT	SDI OUT AUDIO	COMPONENT OUT	VIDEO OUT	再生 1394 出力
1080i/ 60i	DVCPRO HD1080i/ 59.94i	4CH	AUTO	1080i/ 59.94i	4CH	1080i/ 59.94i	480i/ 59.94i	DVCPRO HD1080i/ 59.94i
			1080i	1080i/ 59.94i		1080i/ 59.94i		
			480i	480i/ 59.94i		480i/ 59.94i		
720P/ 60P	DVCPRO HD720P/ 59.94P	4CH	AUTO	720P/ 59.94P	4CH	720P/ 59.94P	480i/ 59.94i	DVCPRO HD720P/ 59.94P
			1080i	1080i/ 59.94i		1080i/ 59.94i		
			480i	480i/ 59.94i		480i/ 59.94i		
720P/ 30PN	60P 記録不可 再生のみ ^{*1}	4CH ^{*4}	AUTO	720P/ 59.94P	4CH ^{*4}	720P/ 59.94P	480i/ 59.94i	DVCPRO HD720P/ 59.94P
			1080i	1080i/ 59.94i		1080i/ 59.94i		
			480i	480i/ 59.94i		480i/ 59.94i		
720P/ 24PN	60P 記録不可 再生のみ ^{*2}	4CH ^{*4}	AUTO	720P/ 59.94P	4CH ^{*4}	720P/ 59.94P	480i/ 59.94i	DVCPRO HD720P/ 59.94P
			1080i	1080i/ 59.94i		1080i/ 59.94i		
			480i	480i/ 59.94i		480i/ 59.94i		
480i/ 60i	DVCPRO50/ DVCPRO/ DV480i/ 59.94i ^{*5}	4CH または 2CH ^{*7}	無効	480i/ 59.94i	4CH または 2CH ^{*6}	480i/ 59.94i	480i/ 59.94i	DVCPRO50/ DVCPRO/DV 480i/59.94i ^{*4}

- ※1 再生は 2:2 ブルダウンで OVER 60P に変換します。
- ※2 再生は 2:3 ブルダウンで OVER 60P に変換します。
- ※3 再生は 2:2 ブルダウンで OVER 50P に変換します。
- ※4 無音で記録されたクリップ再生は無音となります。
- ※5 「SD MODE」の設定に従い DVCPRO50/DVCPRO/DV から選択します。
- ※6 DVCPRO50 では 4CH、DVCPRO/DV では 2CH または 4CH になります。
- ※7 DV の音声 32 kHz、4CH 入力時は、48 kHz、4CH に変換して記録します。

システムフォーマット 50Hz 設定時の場合

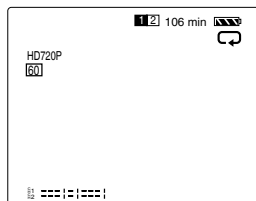
フォーマット 設定	記録状態		出力設定	出力状態				
	1394 記録再生 フォーマット	記録再生 オーディオ CH		CMPNT/ SDI SEL	SDI OUT	SDI OUT AUDIO	COMPONENT OUT	VIDEO OUT
1080i/ 50i	DVCPRO HD1080i/ 50i	4CH	AUTO	1080i/ 50i	4CH	1080i/ 50i	576i/50i	DVCPRO HD 1080i/50i
			1080i	1080i/ 50i		1080i/ 50i		
			576i	576i/ 50i		576i/ 50i		
720P/ 50P	DVCPRO HD720P/ 50P	4CH	AUTO	720P/ 50P	4CH	720P/ 50P	576i/50i	DVCPRO HD 720P/50P
			1080i	1080i/ 50i		1080i/ 50i		
			576i	576i/ 50i		576i/ 50i		
720P/ 25PN	50P 記録不可 再生のみ ^{※3}	4CH ^{※4}	AUTO	720P/ 50P ^{※6}	4CH ^{※4}	720P/ 50P	576i/50i	DVCPRO HD 720P/50P
			1080i	1080i/ 50i		1080i/ 50i		
			576i	576i/ 50i		576i/ 50i		
576i/ 50i	DVCPRO50/ DVCPRO/DV 576i/50i ^{※5}	4CH または 2CH ^{※7}	無効	576i/ 50i	4CH または 2CH ^{※6}	720P/ 50P	576i/50i	DVCPRO50/ DVCPRO/DV 576i/50i ^{※4}
						1080i/ 50i		
						576i/ 50i		

- ※1 再生は 2:2 ブルダウンで OVER 60P に変換します。
- ※2 再生は 2:3 ブルダウンで OVER 60P に変換します。
- ※3 再生は 2:2 ブルダウンで OVER 50P に変換します。
- ※4 無音で記録されたクリップ再生は無音となります。
- ※5 「SD MODE」の設定に従い DVCPRO50/DVCPRO/DV から選択します。
- ※6 DVCPRO50 では 4CH、DVCPRO/DV では 2CH または 4CH になります。
- ※7 DV の音声 32 kHz、4CH 入力時は、48 kHz、4CH に変換して記録します。

設定メニューの基本操作

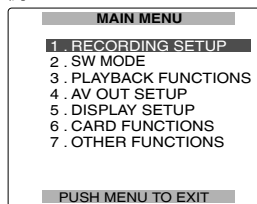
1 [POWER] を 2 秒以上押して電源を ON にする

2 [THUMBNAIL/MODE] を押してサムネール表示オフ画面に切り替える



3 [MENU/MODE CHK] を押してメニューを表示させる

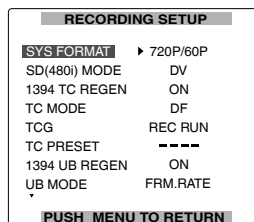
例：



4 ▽、△で設定する機能に反転表示している部分を移動する

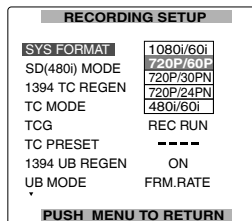
5 □を押して設定項目を表示する

例：



6 ▽、△で、設定したい項目に移動する

7 □を押したあと、▽、△で変更する設定値を選んで□を押す



数値などを変更するときは、▷、◁で設定値を変更します。

8 他の項目を変更する場合は、6～7を繰り返す

設定を終了する場合は、[MENU/MODE CHK] を押して、サムネール表示オフ画面に戻ります。

9 他の機能を変更する場合は、3～7を繰り返す。

設定を終了する場合は、[MENU/MODE CHK] を押して、サムネール表示オフ画面に戻ります。

設定メニューを初期化する

設定メニューのユーザーファイルを、工場出荷時の状態に初期化することができます。

1 サムネール表示オフ画面に切り替える

2 [MENU/MODE CHK] を押す

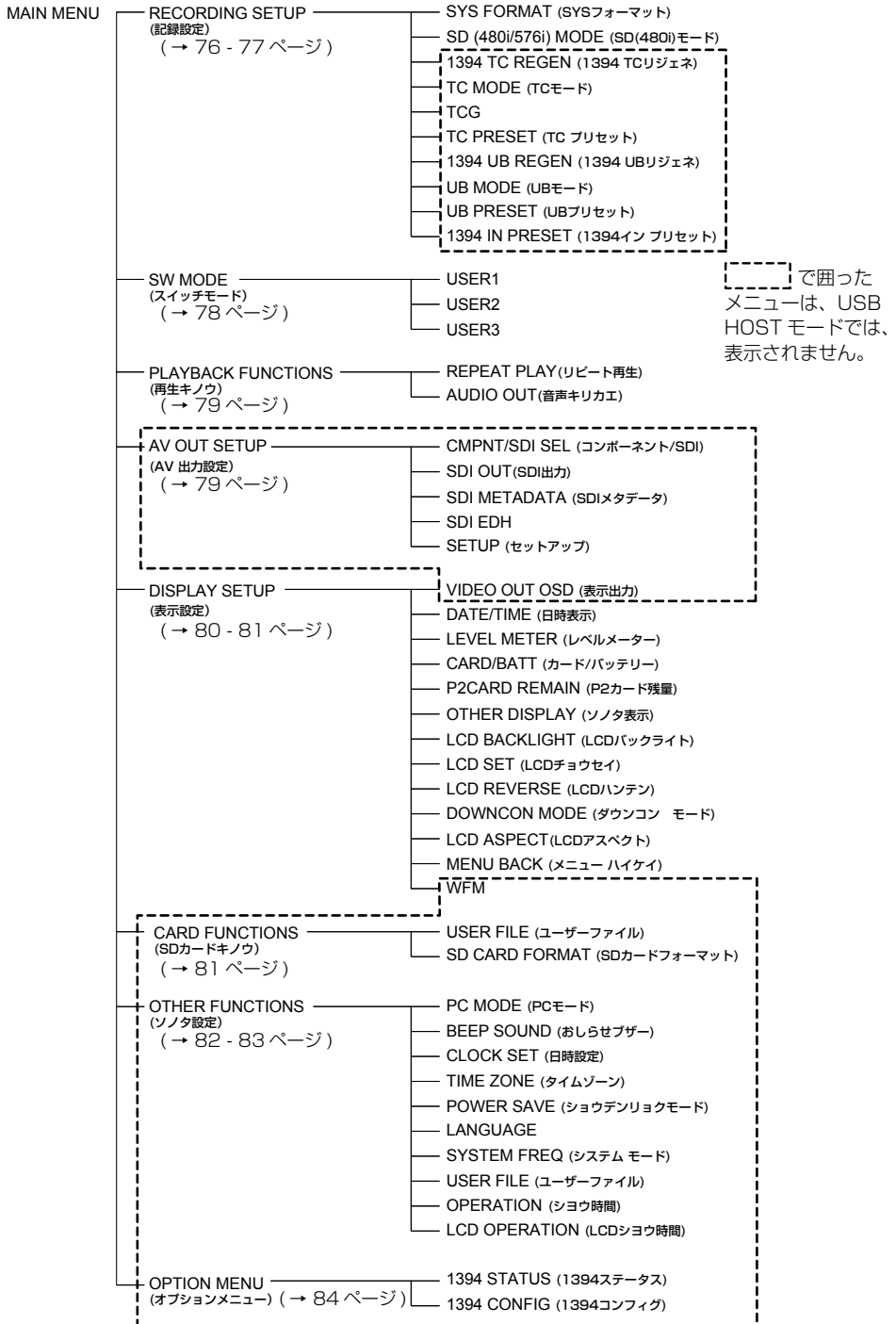
3 ▽、△、□で、「OTHER FUNCTIONS」－「USER FILE」－「INITIAL」を選んで□を押す

4 ▽で「YES」を選んで□を押す

「TURN POWER OFF」が表示されたら、一度電源を切ってから、再度電源を入れてください。

現在使用しているユーザーファイルのメニュー設定が工場出荷時の状態に戻ります。

設定メニューの構成



設定メニューの一覧

RECORDING SETUP 画面

[OTHER FUNCTIONS] 画面の「SYSTEM FREQ」項目 (→ 83 ページ) で設定を変更すると、
[RECORDING SETUP] 画面の「SYS FORMAT」の内容が初期設定に変更されます。

項目	設定内容
SYS FORMAT	1394 入力記録フォーマットおよび再生フォーマットの設定をします。 (59.94Hz 設定時) 1080i/60i 、720P/60P、720P/30PN、720P/24PN、480i/60i (50Hz 設定時) 1080i/50i 、720P/50P、720P/25PN、576i/50i
SD(480i/576i) MODE	1394 入力記録映像圧縮フォーマットおよび再生フォーマットの設定をします。 DVCPRO50 、 DVCPRO 、 DV
1394 TC REGEN	1394 端子に接続している機器の信号を記録するとき、記録するタイムコードを選択します。 ON: 1394 端子に入力されている信号のタイムコードで記録します。 OFF: TC MODE 項目 / TCG 項目で設定されたタイムコードで記録します。 ON にした場合は、TC MODE 項目、TCG 項目より優先されます。
TC MODE(59.94 Hz 設定時のみ)	内部タイムコードジェネレーターのタイムコードを記録するときの、タイムコード補正モードを選択します。1394 TC REGEN 項目を OFF にする必要があります。(→ 52 ページ) DF: ドロップフレームモードを使用します。 NDF: ノンドロップフレームモードを使用します。
TCG	内部タイムコードジェネレーターを歩進させる動作モードを設定します。1394 TC REGEN 項目を OFF にする必要があります。(→ 52 ページ) FREE RUN: 動作モードに関係なく歩進させます。 REC RUN: 記録中のときに歩進させます。
TC PRESET	記録するタイムコードの初期値を設定します。1394 TC REGEN 項目を OFF にする必要があります。(→ 52 ページ)
1394 UB REGEN	1394 端子に接続している機器からの入力信号を記録するときのユーザーズビットの記録設定をします。 ON: 1394 端子に入力されている信号のユーザーズビットで記録します。 OFF: UB MODE 項目で選択されているユーザーズビットで記録します。 ON にした場合は、UB MODE 項目より優先されます。

___ は工場出荷モードです。

RECORDING SETUP 画面 (つづき)

項目	設定内容
UB MODE	<p>ユーザーズビットとして記録する内容を設定します。1394 UB REGEN 項目を OFF にする必要があります。(→ 53 ページ)</p> <p>USER: ユーザーの情報を記録します。</p> <p>TIME: 記録した時刻を記録します。</p> <p>DATE: 記録した日付を記録します。</p> <p>TCG: タイムコードジェネレーターの値を記録します。</p> <p>FRM. RATE : フレーム変換のフレームレート情報を記録します。</p> <pre style="text-align: center;"> * * 0 * * * * * a b c d </pre> <p>a: ユーザーズビット値の検算情報 b: フレームシーケンス No. • 60i/30P モードのときは、F を表示。 c: フレームレート情報 • フレームレート (60/30/24) • I/P 識別情報 • 変換情報 • フレームレート係数 d: 記録管理情報 • 更新フレーム情報 • REC START/STOP 情報</p> <p><ノート> ネイティブ記録されたクリップを再生する場合 1394 出力のユーザーズビットをフレームレート情報にする場合は、この設定を FRM.RATE にしてクリップを再生してください。その場合画面表示されるユーザーズビットもフレームレート情報に変わります。</p>
UB PRESET	<p>ユーザーズビットを設定します。1394 UB REGEN 項目を OFF にし、UB MODE 項目で USER を選択している必要があります。(→ 53 ページ)</p>
1394 IN PRESET	<p>[RESET/TC SET] を押したときに、1394 入力の TC に内部 TCG 値を同期します。1394 TC REGEN 項目を OFF にする必要があります。(→ 52 ページ)</p> <p>ON: 1394 入力同期セットモードに設定します。</p> <p>OFF: 1394 入力同期セットモードを解除します。</p>

___ は工場出荷モードです。

設定メニューの一覧 (つづき)

SW MODE 画面

項目	設定内容
USER1	<p>USER1 ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>SYS FORMAT: システムフォーマット (→ 76 ページ)</p> <p>SD MODE: SD モード (→ 76 ページ)</p> <p>SHOT MARK: クリップにショットマークを記録します。(→ 41 ページ)</p> <p>TEXT MEMO: テキストメモを記録します。(→ 44、46 ページ)</p> <p>LCD BL: LCD バックライト (→ 80 ページ)</p> <p>V OUT OSD: ビデオアウト OSD (→ 80 ページ)</p> <p>AUDIO OUT: オーディオアウト (→ 79 ページ)</p> <p>SLOT SEL: P2 カードスロットの選択 (→ 51 ページ)</p> <p>LCD RVS: LCD リバース (→ 80 ページ)</p> <p>WFM: ウェーブフォームモニター (→ 51、81 ページ)</p>
USER2	<p>USER2 ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>設定内容は USER1 項目と同じです。</p> <p>SHOT MARK</p>
USER3	<p>USER3 ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>設定内容は USER1 項目と同じです。</p> <p>TEXT MEMO</p>

____ は工場出荷モードです。

PLAYBACK FUNCTIONS 画面

項目	設定内容
REPEAT PLAY	<p>リピート再生を設定します。(→ 45 ページ)</p> <p>ON: リピート再生する。「RECORDING SETUP」画面の「SYS FORMAT」項目で設定された、再生可能なフォーマットの最後のクリップを再生後に、再生可能なフォーマットの先頭のクリップをつづけて再生します。</p> <p>OFF: リピート再生をしない。再生可能な最後のクリップを再生後に停止します。 <ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> • テキストメモ位置からの再生時は、リピート再生を行いません。 • リピート再生中に P2 カードを取り出した場合は、取り出した P2 カードにあるクリップに到達すると停止します。 • リピート再生中に P2 カードを挿入した場合、挿入した P2 カードにあるクリップは、次回リピート再生を行うときに再生されます。
AUDIO OUT	<p>再生時に、AUDIO OUT 端子 (ピンジャック)、スピーカー、ヘッドホン端子から出力する音声信号を設定します。</p> <p>CH1・CH2: CH1 端子 = CH1 信号、CH2 端子 = CH2 信号</p> <p>CH1: CH1 端子 = CH1 信号、CH2 端子 = CH1 信号</p> <p>CH2: CH1 端子 = CH2 信号、CH2 端子 = CH2 信号</p> <p>CH3・CH4: CH1 端子 = CH3 信号、CH2 端子 = CH4 信号</p> <p>CH3: CH1 端子 = CH3 信号、CH2 端子 = CH3 信号</p> <p>CH4: CH1 端子 = CH4 信号、CH2 端子 = CH4 信号</p>

AV OUT SETUP 画面

項目	設定内容
CMPNT/SDI SEL	<p>D 端子出力および HD/SD-SDI 出力時のフォーマットを設定します。 (59.94 Hz 設定時) SYS FORMAT 項目を 480i/60i、576i/50i 以外にする必要があります。(→ 72 ページ)</p> <p>AUTO: 「RECORDING SETUP」画面の「SYS FORMAT」項目の設定に従います。 1080i、480i (50 Hz 設定時)</p> <p>AUTO: 「RECORDING SETUP」画面の「SYS FORMAT」項目の設定に従います。 1080i、576i</p>
SDI OUT	<p>SDI 出力の設定をします。</p> <p>ON: SDI 出力をする。 OFF: SDI 出力をしない。</p>
SDI METADATA	<p>HD-SDI 出力時にメタデータの重畳を設定します。</p> <p>ON: メタデータを重畳する。 OFF: メタデータを重畳しない。</p>
SDI EDH	<p>SD-SDI 出力時にエラーディテクションハンドリング (EDH) の重畳を設定します。</p> <p>ON: EDH を重畳する。 OFF: EDH を重畳しない。</p>
SETUP (59.94Hz 設定時のみ項目が表示されます。)	<p>再生時の映像信号のセットアップレベルを設定します。</p> <p>0%: 出力セットアップ 0% になります。</p> <p>7.5%A: 出力セットアップ 7.5 %A になります。</p>

_____ は工場出荷モードです。

設定メニューの一覧 (つづき)

DISPLAY SETUP 画面

項目	設定内容
VIDEO OUT OSD	ON に設定すると、液晶モニターに表示している情報を、映像と一緒に映像出力信号として出力します。(コンポーネント出力、VIDEO 出力、SDI 出力) ON、OFF <ノート> コンポーネント出力および SDI 出力では警告表示を行いません。
DATE/TIME	液晶モニターと映像出力信号に、日付や時刻を表示する設定を行います。 OFF : 日付や時刻を表示しません。 TIME : 時刻を表示します。 DATE : 日付を表示します。 TIME&DATE : 日付と時刻を表示します。
LEVEL METER	オーディオレベルメーターの表示 ON / OFF を切り替えます。 ON、OFF
CARD/BATT	カードとバッテリー残量の表示 ON/OFF を切り替えます。 ON、OFF
P2CARD REMAIN	P2 カード残量計算のしかたを設定します。 ONE-CARD : 選択中のスロットにある P2 カードの残量を計算します。 TOTAL : すべてのスロットにある P2 カードの残量を合計します。
OTHER DISPLAY	液晶モニターに表示する情報量を設定します。(→ 71 ページ) OFF、PARTIAL、ALL
LCD BACKLIGHT	液晶モニターのバックライトを調整します。HIGH に設定すると、通常より明るくなります。 HIGH、NORMAL
LCD SET	液晶モニター映像の表示レベルを調整します。(→ 22 ページ) LCD COLOR LEVEL LCD BRIGHTNESS LCD CONTRAST
LCD REVERSE	液晶モニターの表示を上下左右反転表示する機能の設定をします。 NORMAL : 通常表示 REVERSE : 上下左右反転表示 <ノート> メニューの反転表示が移動する方向や、サムネール表示画面のカーソルの移動する方向は上下左右反転しません。

_____ は工場出荷モードです。

DISPLAY SETUP 画面 (つづき)

項目	設定内容
LCD ASPECT	液晶モニターのアスペクトを選択します。SYS FORMAT 項目を 480i/60i または 576i/50i に設定する必要があります。 AUTO : 記録モード、再生モード等の情報をもとに自動的に切り替えます。 4:3 : 4:3 に固定します。 <ノート> 16:9 表示は、画面上下に黒帯が表示されます。映像は欠けません。
MENU BACK	メニュー表示画面のバックグラウンドの透過率を下げて文字を見やすく設定します。 ON : バックグラウンド透過率を下げる • DISPLAY SETUP 画面の LCD SET 項目の設定中は透過率は上がりません。 OFF : バックグラウンド透過率 100 %
DOWNCON MODE	ダウンコンバーター出力信号のモードを設定します。SYS FORMAT 項目を 480i/60i、576i/50i 以外に設定する必要があります。 SIDE CROP 、 LETTER-BOX 、 SQUEEZE
WFM	ウェーブフォームモニターの表示を切り替えます。 OFF : 表示しない。 WAVE : 波形表示します。 VECTOR : ベクトル表示します。 <ノート> USB HOST モードでの再生時はウェーブフォームモニターを表示しません。

CARD FUNCTIONS 画面

項目	設定内容
USER FILE	メニュー項目の設定値を4つまで SD メモリーカードへ保存できます。保存したファイルにはタイトルを付けることもできます。(→ 29 ページ)
SD CARD FORMAT	SD メモリーカードをフォーマットします。(→ 28 ページ)

_____ は工場出荷モードです。

設定メニューの一覧 (つづき)

OTHER FUNCTIONS 画面

項目	設定内容																																																																																																												
PC MODE	<p>データ転送に使用する端子およびモードを選択します。(USB と 1394 の同時使用はできません。)</p> <p>USB DEVICE: USB 端子を使ったファイル転送モード</p> <p>USB HOST: USB 端子を使ってP2カードから外部ハードディスクにファイルをコピーするモード</p> <p>1394 DEVICE : 1394 端子を使ったファイル転送モード</p> <p>1394 HOST : 1394 端子を使ってP2カードから外部ハードディスクにファイルをコピーするモード</p>																																																																																																												
BEEP SOUND	<p>ビープ音の ON/OFF を切り替えます。(→ 85 ページ)</p> <p>ON、OFF <ノート> ビープ音を発信するときは出力端子からの音声をミュートします。</p>																																																																																																												
CLOCK SET	<p>本機の内蔵カレンダーを設定します。(→ 23 ページ)</p>																																																																																																												
TIME ZONE	<p>GMT に対して、- 12:00 から+ 13:00 まで 30 分単位(ただし+ 12:45 はあり)で設定します。(下記参照)</p> <p>+9 : 00</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時差</th> <th>地域</th> <th>時差</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>00:00</td><td>グリニッジ</td><td>- 00:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 01:00</td><td>アゾレス諸島</td><td>- 01:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 02:00</td><td>中部大西洋</td><td>- 02:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 03:00</td><td>ブエノスアイレス</td><td>- 03:30</td><td>ニューファンドランド島</td></tr> <tr><td>- 04:00</td><td>ハリファックス</td><td>- 04:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 05:00</td><td>ニューヨーク</td><td>- 05:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 06:00</td><td>シカゴ</td><td>- 06:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 07:00</td><td>デンバー</td><td>- 07:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 08:00</td><td>ロサンゼルス</td><td>- 08:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 09:00</td><td>アラスカ</td><td>- 09:30</td><td>マルケサス諸島</td></tr> <tr><td>- 10:00</td><td>ハワイ</td><td>- 10:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 11:00</td><td>ミッドウェイ諸島</td><td>- 11:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 12:00</td><td>クワジャリン</td><td>+ 11:30</td><td>ノーフォーク島</td></tr> <tr><td>+ 13:00</td><td></td><td>+ 10:30</td><td>ロード・ハウ・アイランド</td></tr> <tr><td>+ 12:00</td><td>ニュージーランド</td><td>+ 09:30</td><td>ダーウィン諸島</td></tr> <tr><td>+ 11:00</td><td>ソロモン諸島</td><td>+ 08:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 10:00</td><td>グアム</td><td>+ 07:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 09:00</td><td>東京</td><td>+ 06:30</td><td>ラングーン</td></tr> <tr><td>+ 08:00</td><td>北京</td><td>+ 05:30</td><td>ボンベイ</td></tr> <tr><td>+ 07:00</td><td>バンコク</td><td>+ 04:30</td><td>カブール</td></tr> <tr><td>+ 06:00</td><td>ダッカ</td><td>+ 03:30</td><td>テヘラン</td></tr> <tr><td>+ 05:00</td><td>イスラマバード</td><td>+ 02:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 04:00</td><td>アブダビ</td><td>+ 01:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 03:00</td><td>モスクワ</td><td>+ 00:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 02:00</td><td>東ヨーロッパ</td><td>+ 12:45</td><td>チャタム諸島</td></tr> <tr><td>+ 01:00</td><td>中央ヨーロッパ</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	時差	地域	時差	地域	00:00	グリニッジ	- 00:30		- 01:00	アゾレス諸島	- 01:30		- 02:00	中部大西洋	- 02:30		- 03:00	ブエノスアイレス	- 03:30	ニューファンドランド島	- 04:00	ハリファックス	- 04:30		- 05:00	ニューヨーク	- 05:30		- 06:00	シカゴ	- 06:30		- 07:00	デンバー	- 07:30		- 08:00	ロサンゼルス	- 08:30		- 09:00	アラスカ	- 09:30	マルケサス諸島	- 10:00	ハワイ	- 10:30		- 11:00	ミッドウェイ諸島	- 11:30		- 12:00	クワジャリン	+ 11:30	ノーフォーク島	+ 13:00		+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド	+ 12:00	ニュージーランド	+ 09:30	ダーウィン諸島	+ 11:00	ソロモン諸島	+ 08:30		+ 10:00	グアム	+ 07:30		+ 09:00	東京	+ 06:30	ラングーン	+ 08:00	北京	+ 05:30	ボンベイ	+ 07:00	バンコク	+ 04:30	カブール	+ 06:00	ダッカ	+ 03:30	テヘラン	+ 05:00	イスラマバード	+ 02:30		+ 04:00	アブダビ	+ 01:30		+ 03:00	モスクワ	+ 00:30		+ 02:00	東ヨーロッパ	+ 12:45	チャタム諸島	+ 01:00	中央ヨーロッパ		
時差	地域	時差	地域																																																																																																										
00:00	グリニッジ	- 00:30																																																																																																											
- 01:00	アゾレス諸島	- 01:30																																																																																																											
- 02:00	中部大西洋	- 02:30																																																																																																											
- 03:00	ブエノスアイレス	- 03:30	ニューファンドランド島																																																																																																										
- 04:00	ハリファックス	- 04:30																																																																																																											
- 05:00	ニューヨーク	- 05:30																																																																																																											
- 06:00	シカゴ	- 06:30																																																																																																											
- 07:00	デンバー	- 07:30																																																																																																											
- 08:00	ロサンゼルス	- 08:30																																																																																																											
- 09:00	アラスカ	- 09:30	マルケサス諸島																																																																																																										
- 10:00	ハワイ	- 10:30																																																																																																											
- 11:00	ミッドウェイ諸島	- 11:30																																																																																																											
- 12:00	クワジャリン	+ 11:30	ノーフォーク島																																																																																																										
+ 13:00		+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド																																																																																																										
+ 12:00	ニュージーランド	+ 09:30	ダーウィン諸島																																																																																																										
+ 11:00	ソロモン諸島	+ 08:30																																																																																																											
+ 10:00	グアム	+ 07:30																																																																																																											
+ 09:00	東京	+ 06:30	ラングーン																																																																																																										
+ 08:00	北京	+ 05:30	ボンベイ																																																																																																										
+ 07:00	バンコク	+ 04:30	カブール																																																																																																										
+ 06:00	ダッカ	+ 03:30	テヘラン																																																																																																										
+ 05:00	イスラマバード	+ 02:30																																																																																																											
+ 04:00	アブダビ	+ 01:30																																																																																																											
+ 03:00	モスクワ	+ 00:30																																																																																																											
+ 02:00	東ヨーロッパ	+ 12:45	チャタム諸島																																																																																																										
+ 01:00	中央ヨーロッパ																																																																																																												

_____ は工場出荷モードです。

OTHER FUNCTIONS 画面 (つづき)

項目	設定内容
POWER SAVE	<p>約5分間、操作キー、ボタンの操作がなかったときの省電力モードを選択します。</p> <p>ON : 本機の電源を OFF の状態にします。</p> <p>OFF: 本機の電源を OFF にせずに通電状態を保持します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IEEE1394 ケーブルおよびUSB ケーブルで外部機器と接続して通信状態になっているときは、上記ボタンの操作がなかった場合でも電源 OFF にはなりません。 • この設定が ON となっても、再生中 (PLAY、CUE、REV、FF、REW、STILL) および記録中は、電源 OFF になりません。
LANGUAGE	<p>メニュー表示言語を設定します。</p> <p>ENGLISH : 英語</p> <p>JAPANESE : 日本語</p>
SYSTEM FREQ	<p>システムの周波数を切り替えます。</p> <p>59.94 Hz、50 Hz</p> <p><ノート></p> <p>システム周波数の変更を行ったときは、設定値を有効にするために、本機の電源を入れ直してください。</p>
USER FILE	<p>LOAD : 前回保存されたユーザーファイルの設定値を読み出します。</p> <p>SAVE : 変更したユーザーファイルの設定値を保存します。</p> <p>INITIAL : ユーザーファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。 LOAD や INITIAL を行ったときは、設定値を有効にするために、本機の電源を入れ直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • INITIAL を実行しても、TIME ZONE 項目 (→ 82 ページ) の設定は変更されません。
OPERATION	通電時間 (5 けた) を表示します。
LCD OPERATION	液晶モニターバックライトの通電時間 (5 けた) を表示します。

_____ は工場出荷モードです。

設定メニューの一覧 (つづき)

OPTION MENU 画面

サムネール表示オフ画面で、をしたまま、[MENU/MODE CHK] を押すと表示されます。

項目	設定内容
1394 STATUS	1394 状態表示サブ画面が表示されます。 FORMAT: 入力、もしくは出力されている信号フォーマット RATE: 入力、もしくは出力されている信号の転送レート 60/50: 入力、もしくは出力されている信号の方式 CH: 入力、もしくは出力されているチャンネルの値 SPEED: 入力、もしくは出力されている信号の転送速度 STATUS NOPKT: IEEE1394 デジタルインターフェースで入力、もしくは出力されている信号の状態 VIDEO: 入力、もしくは出力されるビデオ信号の状態 AUDIO: 入力、もしくは出力されるオーディオ信号の状態
1394 CONFIG	1394 拡張用メニューが表示されます。 DFLT : 通常はこのままでお使いください。 1-255

_____ は工場出荷モードです。

警告システム一覧表

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、電源ランプおよびピープ音（「OTHER FUNCTIONS」画面の「BEEP SOUND」項目が ON に設定されているとき（→ 82 ページ））に異常を知らせます。

優先	警告の種類	液晶モニター画面表示	電源ランプ	ピープ音	警告の内容と記録再生動作	対策
1	システムエラー	SYSTEM ERROR 要因表示* ¹ 赤く点滅	4回/秒で点滅	連続音	P2 マイコン、または制御の異常です。 動作は停止します。	要因表示 * ¹ を確認し、販売店にご相談ください。
2	P2 カード取り出し異常	TURN POWER OFF 赤く点滅	4回/秒で点滅	連続音	アクセス中の P2 カードを取り出したため、内部メモリーに異常が発生しています。 アクセス LED が 2 つとも橙点滅 (4Hz) します。	電源を OFF にしてください。 取り出した P2 カードのクリップに異常がある場合、修復を行ってください。
3	バッテリーエンド	LOW BATTERY 赤く点滅、バッテリー残量表示が空の状態点滅します。(設定メニューで表示を OFF に設定していても表示します)	1回/秒で点滅	連続音	バッテリーの消耗です。 記録再生は停止します。 さらに電圧が下がると自動的に電源が OFF になります。	バッテリーを交換します。
4	P2 カード記録エンド	REC FULL 赤く点滅 (REC) を押ししたときは 3 秒間のみ表示)	記録終了後 4回/秒で点滅	記録終了後に連続音	P2 カードの記録容量がなくなりました。 記録を停止します。* ³	不要なクリップを消去するか、新しいカードを入れます。
5	記録異常	REC WARNING 要因表示 * ² 赤く点滅	4回/秒で点滅	4回/秒の断続音	記録の異常です。 記録を停止します。* ⁴	一度電源 OFF にしたあと、再度 ON にしてから、記録/再生の確認を行ってください。 正常に記録できない場合は P2 カードを交換してください。
6	PC モード 1394 HOST での接続エラー	無し	4回/秒で点滅	無し	1394 ケーブルが抜かれたり、複数台接続されています。 (通常の PC モードの操作は可能)	手順に従って HDD を接続してください。
7	バッテリーニアエンド	バッテリー残量表示が 1 個点滅。(設定メニューで表示を OFF に設定していても表示します)	1回/秒で点滅	無し	バッテリーの消耗間近です。 動作は継続されます。	必要に応じて、バッテリーを交換してください。
8	P2 カード記録ニアエンド	メディア残量表示が点滅	記録中に 1回/秒で点滅	無し	P2 カード残り 2 分未満 (残量表示が 1 分以下) になった。 記録中のみ警告します。	必要に応じて、P2 カードを交換するか、追加挿入してください。

※ 1 P2 SYSTEM ERROR 要因表示

- P2 MICON ERROR : P2 マイコンが応答していません
- P2 CONTROL ERROR : P2 記録制御に異常が発生
- REC RAM OVERFLOW : 記録 RAM のオーバーフロー

※ 2 REC WARNING 要因表示

- CARD ERROR* : P2 カード異常 (*には異常カードのスロット番号を表示)
- REC RAM OVERFLOW : 記録 RAM のオーバーフロー
- ERROR : その他の記録異常

※ 3 以下の操作を行うと、警告は止まります。

- 再生系操作ボタン (STOP、PLAY、STILL、FF、REW) を押したとき
- [THUMBNAİL/MODE] を 2 秒以上押ししたままにして、PC モードにしたとき
- P2 カードを取り出したり、別のカードを挿入したとき

※ 4 以下の操作を行うと、警告は止まります。


- 再生系操作ボタン (STOP、PLAY、STILL、FF、REW) を押したとき
- P2 カードを取り出したとき

USB HOST モードと 1394 HOST モードの主な相違点

機能	USB HOST	1394 HOST
カード単位のエクスポート	○ (最大 23)	○ (最大 15)
HDD から P2 カードへのインポート	○ (クリップ選択可)	×
HDD のクリップサムネール表示	○	×
パーティション名の変更	○	×
HDD からのクリップ再生	×	×
バスパワー機能	○	×

故障？と思ったら (Q&A)

電源関係

電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーや AC アダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してみてください。● 電源を入れるときは [POWER] を 2 秒以上押したままにしてください。	P 17 P 18
電源が勝手に切れる。	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーの消費を防ぐために、操作をしていない状態が 5 分以上つづくと、自動的に電源が切れます。設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の POWER SAVE 項目を確認してください。	P 83
電源が入ってもすぐに切れる。	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーが消耗していませんか。バッテリー残量表示が点滅していたり、 の表示が出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電するか十分に充電されたバッテリーを入れてください。	P 67

バッテリー関係

バッテリーの消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none">● 十分に充電されていますか。AC アダプターの CHARGE ランプが消灯するまで充電してください。● 低い温度の所で使っていませんか。バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度の所では、使用時間が短くなります。● バッテリーが寿命になっていませんか。バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短いときは、バッテリーの寿命です。	P 16 — —
バッテリーが充電できない。	<ul style="list-style-type: none">● DC コードが AC アダプターに接続されていると、充電できません。	P 17

故障?と思ったら(Q&A)(つづき)

記録

記録が始まらない。	<ul style="list-style-type: none">● 本機の電源が ON になっていますか。● バッテリーが寿命になっていませんか。バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短いときは、バッテリーの寿命です。	P 18 —
P2 カードを正しく入れているのに記録できない。	<ul style="list-style-type: none">● P2 カードの書き込み禁止スイッチが「PROTECT」側になっていませんか。「PROTECT」側になっていると録画できません。● P2 カードのメモリー残量が極端に少なくなっていますか。内容を他のメディアに保存した上で不要なデータを消すか、新しいカードに交換してください。● P2 カードが正しくフォーマットされていますか。または、使用できないフォーマットになっていませんか。本機でフォーマットしてください。● 2 GB の P2 カードは使用できません。	P 25 P 42 P 25 P 27

編集

SD メモリーカードが読めない。	<ul style="list-style-type: none">● SD メモリーカードが正しくフォーマットされていますか。本機でフォーマットしてください。	P 28
ノンリニア編集ができない。	<ul style="list-style-type: none">● パソコンと接続ケーブルの仕様を確認してください。	P 64

再生

早送り再生、巻き戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none">デジタル特有の現象です。故障ではありません。	—
テレビと正しく接続しているのに再生画が出ない。	<ul style="list-style-type: none">テレビの入力切り替えが「ビデオ入力」になっていますか。テレビ側の説明書をよくお読みになり、接続したビデオ入力端子を選んでください。	—
本機のスピーカーから再生音声が出ない。	<ul style="list-style-type: none">本機の音量調整が小さくなりすぎていませんか。PAGE/AUDIO MON/VAR ボタン+ を押して音量を調整してください。ヘッドホン端子にヘッドホンを接続しているときは、スピーカーからの音声は聞こえません。	P 66 —
ホットスワップ再生ができない。	<ul style="list-style-type: none">本機はホットスワップ再生に対応していません。つづけて再生する場合には一度停止し、P2 カードを入れ替えてください。	P 51

使用上のご注意

雨天、降雪中、海岸などで使うときは、本機に水が入らないようご注意ください。

- 本機やカードの故障につながります。(修理できなくなることがあります。)

磁気を発生する機器(テレビ、テレビゲームなど)から本機を遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺で本機を使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、録画内容を破損したり、画像をゆがめることがあります。
- マイクロコンピュータから放出される電磁波は、本機に悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器により本機が悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、本機の電源を切り、バッテリーを外すか、ACアダプターをコンセントから抜きます。そしてもう一度バッテリーを入れるか、ACアダプターを接続します。その後本機の電源を入れます。

本機をラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

海岸などで使用する場合、砂やほこりが本機に入らないようご注意ください。

- 砂やほこりで本機やカードが破損することがあります。(カードを出し入れするときにはご注意ください。)

設置場所について

本機を直射日光にさらされた場所に置かないでください。キャビネットの劣化や、液晶画面の損傷のおそれがあります。

ACアダプターとバッテリーについて

- バッテリー本体の温度が極端に高かったり低かったりするとき、もしくはバッテリーが長期間使用されずに放電したままになっているとき、[CHARGE]ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- バッテリーが適温でも[CHARGE]ランプが点滅し続けるときは、バッテリーかACアダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くなります。

- ACアダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。ACアダプターとラジオは1m以上離してお使いください。
- ACアダプターの使用中に、ノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ。

詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ:
<http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をゼロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



充電式

リチウムイオン

Li-Ion

電池使用

本機を持ち運ぶとき、落とさないようご注意ください。

- 強い衝撃で本機本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。

本機に殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、本機本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- 本機は、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

バッテリーの特性について

このバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、たった5分ほどしかもちません。バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。

本機からバッテリーを確実に外してください。(付けたままにしておくと、本機の電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます。) 長期間バッテリーを付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

バッテリーの端子部を保護してください。

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。

また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーを本機に入れたり、ACアダプターに付けると、本機やACアダプター側を傷めることがあります。

メモリーカードを破棄／譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶について

- 液晶モニターに、同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが生じることがありますが、数時間電源を OFF にしておくと、元に戻ります。
- 液晶部は、精密度の高い技術で作られています。99.99 % 以上の有効画素がありますが、0.01 % 以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 液晶部を固い布でふいたり、強くこすったりすると、表面に傷が付く原因となります。
- 液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。
- 温度差が激しい所では、液晶モニターの液晶部につゆが付くことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布でふいてください。
- 本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

端子の保護キャップについて

使用しない接続端子には、保護キャップを取り付けておいてください。

本機搭載ドライバーのアップデート

ドライバーに関する最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

ドライバーのアップデートの際は、サムネールメニューの OPERATION-SERVICE-SYSTEM INFO で本機のバージョンを確認の上、上記のサイトにアクセスし、必要に応じてドライバーをダウンロードしてください。

アップデートはダウンロードしたファイルを、SD メモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については、上記サイトをご覧ください。

- インストールするときは、必ず AC アダプターを接続してください。
- 本機で使用する SD メモリーカードは SD 規格に準拠したものをお使いください。
また、SD メモリーカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。パソコンでフォーマットする必要がある場合は、専用ソフトウェアを上記のサイトからダウンロードしてご使用ください。

お手入れについて

お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。

- ベンジンやシンナーを使うと、本機が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、AC コードをコンセントから抜いておきます。
- 柔らかい、清潔な布で本機をふいてください。汚れがひどいときは、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。

結露

結露が起こるのは、暖房を入れた部屋の窓ガラス一面に水滴（露）が付くのと同じ原理です。本機やカードを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の多いところや、暖房を入れた直後の部屋へ移動したとき
- 冷房を入れているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき
- このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに、10 分程度放置したままお待ちください。

保管上のお願い

保管時は、本機からバッテリーを外してください。湿度が少なく比較的湿度が一定な場所にそれぞれ保管してください。

[推奨温度：15℃～25℃]

[推奨相対湿度：40%～60%]

本機

- ほこりが入らないよう、柔らかい布で包んでください。

バッテリー

- 極端に低温、高温になる所では、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりの多い所に保管すると、端子がさびるなどして故障の原因となることがあります。
- バッテリーの端子に**金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。端子間がショートし発熱することがあり、この状態で触れるとやけどをするおそれがあります。**
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、本機で充電容量を使い切って再保管することをおすすめします。

P2 カード

- 本機から取り出したときは、必ず専用キャップを取り付けて砂やほこりがコネクター部に付着しないようにしてください。また、保管時や携帯時は、専用ケースに入れてください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。

SD メモリーカード

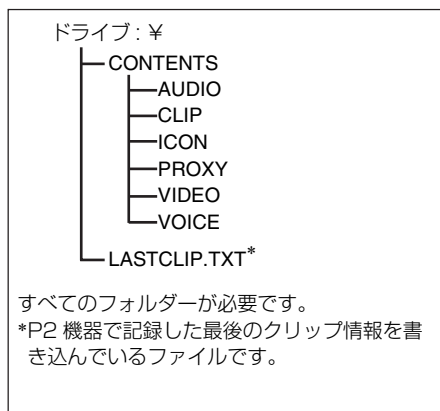
- 本機から取り出したときは、必ずケースに収納してください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 車の中や直射日光の当たる所など温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多い所には置かないでください。

P2 カード記録データの取り扱いについて

P2 カードはプロフェッショナル映像制作・放送用機器「DVCPRO P2 シリーズ」の記録メディアに採用した、半導体メモリーカードです。

- DVCPRO P2 フォーマットの記録データは、ファイル形式のため、PC との親和性にすぐれていますが、そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXF ファイル化される映像、音声データだけでなく、様々な重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成にて関連付けられています。

これらの情報が一部分でも変更、または削除されると、P2 データとして認識できない、もしくはカードが P2 機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。



すべてのフォルダーが必要です。

*P2 機器で記録した最後のクリップ情報を書き込んでいるファイルです。

- P2 カード内のデータを PC などに転送したり、PC に格納したデータを P2 カードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2 ビューアー」を下記ウェブサイトよりダウンロードし、お使いください。(対応 OS WindowsXP / Windows2000)

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

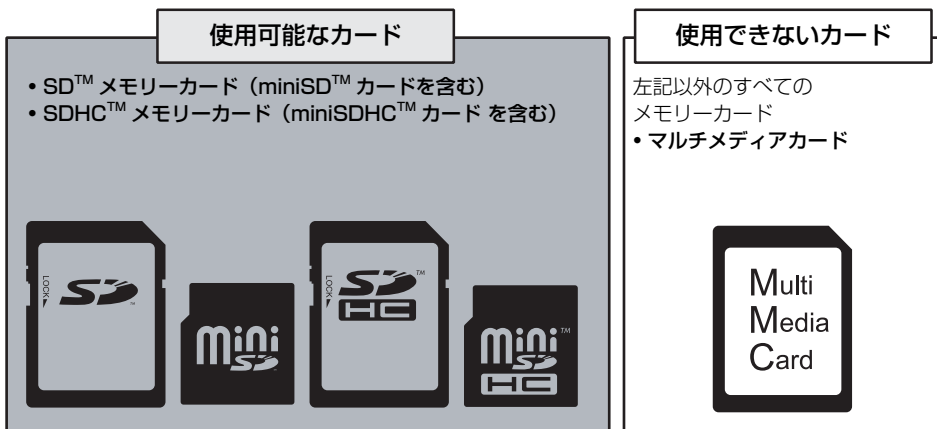
- Microsoft Windows Explorer や Apple Finder など、一般の IT ツールを使用して PC に転送する場合は、下記のように行ってください。
なお、P2 カードへ戻す場合は、必ず P2 ビューアーをご使用ください。

- CONTENTS フォルダと LASTCLIP.TXT ファイルごとに行ってください。
CONTENTS フォルダ以下は、操作しないでください。
コピーする際は、CONTENTS フォルダと同時に LASTCLIP.TXT ファイルも行ってください。
- 複数の P2 カードを PC に転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2 カードごとにフォルダを作成してください。
- P2 カード内のデータ消去は行わないでください。
- P2 カードは必ず P2 機器でフォーマットしてご使用ください。

-
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Apple および Macintosh は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

メモリーカードのご使用について

本機には、SD 規格 /SDHC 規格に準拠した SD メモリーカードを入れてご使用ください。
また、miniSD/miniSDHC カードを本機で使用する場合は、必ず、専用のアダプターを装着してご使用ください。(アダプターのみを本機に挿入すると正常に動作しません。アダプターには、必ず、メモリーカードを入れてご使用ください。)



本機では、以下の容量の SD メモリーカードが使用できます。

SD(8 MB ~ 2 GB まで):

8 MB	16 MB	32 MB	64 MB	128 MB
256 MB	512 MB	1 GB	2 GB	

SDHC(4 GB のみ):

4 GB

当社製の SD/SDHC メモリーカードおよび miniSD/miniSDHC カードをご使用いただくことをおすすめします。

本機や、本機で使用可能なメモリーカードについての最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

- SDHC カードは、2006 年に SD アソシエーションにより策定された、2 GB を超える大容量メモリーカードの新規格です。
- SD カードロゴは、登録商標です。
- MMC (MultiMediaCard) は、Infineon Technologies AG 社の登録商標です。

本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL) ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

GPL/LGPL の内容については、本機に付属したインストール CD に収められています。LDOC という名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文 (英文) で記載しております。) また、ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。MIT の内容については、本機に付属したインストール CD に収められています。LDOC という名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文 (英文) で記載しております。)

-
- SD ロゴは商標です。

その他、この説明書に記載されている、各種説明、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

<p>この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。</p>

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■補修用性能部品

当社では、メモリーカード ポータブルレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカード ポータブルレコーダー
品番	AG-HPG10
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

[総合]

電源電圧	DC7.2 V/7.9 V
消費電力	11 W

は安全項目です。

動作周囲温度

0 °C ~ 40 °C

動作周囲湿度

10 % ~ 80 % (結露なし)

質量

1.1 kg (本体)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

104.0 mm × 83.0 mm × 227.0 mm
(セット足を除く)

記録メディア

P2 カード

記録ファイル

MXF ファイル (FAT32 ファイルシステム)

[ビデオ]

映像記録フォーマット (1394 入力)

1080i/60i、1080i/50i、720P/60P、
720P/50P (DVCPRO HD)

480i/60i、576i/50i (DVCPRO50/
DVCPRO/DV フォーマット切り替え)

※ 60P は 59.94P、60i は 59.94i

再生フォーマット

DVCPRO HD

1080i/60i (30P over 60i、24P over
60i、24PA over 60i)

1080i/50i (25P over 50i)

720P/60P (30P over 60P、24P over
60P)

720P/30PN (ネイティブ記録)

720P/24PN (ネイティブ記録)

720P/50P(25P over 50P)

720P/25PN (ネイティブ記録)

DVCPRO50/25、DV

480i/60i (30P over 60i、24P over 60i、
24PA over 60i)

576i/50i (25P over 50i)

※ 24P は 23.98P、30P は 29.97P、60P
は 59.94P、60i は 59.94i

サンプリング周波数

Y : 74.25 MHz、P_B/P_R : 37.125 MHz
(DVCPRO HD)

量子化

8 bit (DVCPRO HD)

ビデオ圧縮方式

DCT+ 可変長符号 (DVCPRO HD)

ビデオ圧縮比率

1/6.7 (DVCPRO HD)

ビデオビットレート

100 Mbps (DVCPRO HD)

ビデオ出力

HD/SD-SDI 出力:

BNC x 1、0.8 V_{p-p}、75 Ω

HD : SMPTE292M/296M/299M 規格に
準拠

SD : SMPTE259M-C/272M-A、ITU-R
BT.656-4 規格に準拠

アナログコンポジット出力:

BNC x 1、Video: 1.0 V_{p-p}、75 Ω

アナログコンポーネント出力

D4 端子 x 1 (Y、P_B、P_R) Y: 1.0 V_{p-p}、
75 Ω、P_B/P_R: 0.7 V_{p-p}、75 Ω

[メモリーカード]

記録・再生時間

カード 品番	使用 枚数	フォーマット		
		DVCPRO/ DV (オーディオ 2CH)	DVCPRO50 (オーディオ 4CH)	DVCPRO HD (オーディオ 4CH)
AJ-P2C 008HG	1 枚	約 32 分	約 16 分	約 8 分
	2 枚	約 64 分	約 32 分	約 16 分
AJ-P2C 016RG	1 枚	約 64 分	約 32 分	約 16 分
	2 枚	約 128 分	約 64 分	約 32 分

[オーディオ]

音声記録フォーマット (1394 入力)

- 48 kHz 16 ビット 4CH
- (DVCPRO HD、DVCPRO50)
- 48 kHz 16 ビット 2CH または 4CH
- (DVCPRO/DV)
- ※ DV フォーマットの 32 kHz、12 ビット、4CH 入力は、48 kHz、16 ビット、4CH に変換して記録

サンプリング周波数

48 kHz

量子化

16 bit/4CH

周波数特性

20 Hz ~ 20 kHz

オーディオ出力

LINE 出力

ピンジャック X 2 (CH1、CH2)

316 mV、600 Ω

ヘッドホン

ステレオミニジャック (3.5 mm 径) × 1

内蔵スピーカー

20 mm 丸形 × 1 (モノラル)

[その他入出力]

IEEE1394 デジタル入出力

IEEE1394a 6pin x 1 400/200/100 Mbps 選択可能

USB 2.0

HOST X 1 (A タイプ、バスパワー対応)

DEVICE X 1 (B タイプ)

[P2 カードスロット]

P2 カードスロット X 2

[SD カードスロット]

SD メモリーカードスロット X 1

(マルチメディアカード使用不可)

[液晶モニター]

3.5 インチ、液晶カラーモニター (21 万画素)

[AC アダプター]

定格入力

100 V -240 V AC、50/60 Hz 24 W

定格出力

7.9 V DC、1.9 A (ビデオカメラ)

8.4 V DC、1.2 A (充電時)

は安全項目です。

質量

160 g

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

70.0 mm × 44.5 mm × 116.0 mm

[別売周辺機器]

バッテリー

VW-VBD35 (2700 mAh)

VW-VBD55 (5400 mAh : 付属のバッテリーと同等品)

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© 2007 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

